京城日報 (年中無休刊)

本紙定價 一部金四錢 壹箇月金七十五錢 (以下略)
廣告料 五號十四字詰一行 ……
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長六千九番 振替京城三〇〇番

八月七日夕刊 (朝刊併せて八頁)

ウ氏責任を避く
山東問題の解決に對して

米國大統領ウイルソン氏の健康は未だ全然恢復したるに非ざるも講和條約及び國際聯盟の議事に對しては深き注意を拂ひつゝあり大統領は山東問題の解決に對して責を負ふを欲せず一片の個人的陳述書を發表し自身が此の解決方の發議人たり若くは立案者たるの說を否定し結局今後日本の執る行動に依りて本件は漸次明かなるべしと述べたり(華盛頓電報)

對西伯利意見書
米大統領の上院に送致せる

ウイルソン氏は對西伯利政策に就きて長文の意見書を上院に送致せるが同書に曰く聯合國軍隊撤退の際日本政府よりスチーブンス氏及び米國鐵道團の同時撤退を要求さるゝに至らば現在の狀態より由々敷大事と云はざる可らずと云へり(華盛頓電報)

ウ氏の對日要求

公報に非ざる報道に依れば米國大統領は日本に向け日本委員が巴里に於てなしたる山東に關する保障を公にせんことを求めたりと(華盛頓電報)

西藏境界爭議
支那英國の提議に同意せず

西藏に於ける英支境界爭議に關しては支那側にて英國の提議に同意する能はざる旨を英國公使に回答せるが英國公使は本國の訓電を仰ぎ復答すべき旨を答へたり尚ほ支那政府は四川督軍に右の趣を通牒したるが英國の要望は西藏に於ける境界擴張、自治承認、支那軍隊の撤退等なりと(北京電報)

鐵道守備軍配備

昨日政府は吉林督軍鮑貴卿より張鳴九を哈、長に駐めて中東鐵路副司令と爲し耿玉田を以て長春駐在護路第二段司令に任じ各部の軍隊を以て全線を守らすとの電報に接したり(北京電報)

山東交涉使內定

外交部參事熊[?]氏は山東交涉使に榮轉するに內定せり(北京電報)

有賀氏繼續就任

契約滿期となりて過日歸朝の途に就ける有賀顧問は我政府と打合せの上再び繼續就任すべし(北京電報)

物價調節と金利政策
六日高橋藏相の發表せる要旨
通貨收縮は不可なり

高橋藏相は六日『物價調節と金利政策等に就ての卑見』と題し極めて長文のものを發表したるが其の要領左の如し(東京電報)

通貨收縮問題

時物價問題に關し其調節策として通貨の收縮を行ふべしとなすもの少からず抑も大戰以來各國に於て通貨の膨脹したることは未曾有の額に上り是が收縮を必要とするは各國の等しく認むる所なるも茲に先づ其政策實行が國經濟上に於ける

我國の地位

に如何なる影響を受くべきかに就き卑見を披瀝し聊か說明を試みんとす抑も通貨に關しては世人の所謂金通貨の外に信用通貨のある事を閑却すべからず此の二者の割合は日露戰役の當時にありては英國は信用通貨九割五分現金通貨五分の割合に對し日本に於ては信用通貨六割五分現金通貨三割五分を保ちたりしが爾來

我信用取引

漸次發達し遂に今や信用通貨八割四分現金通貨一割六分の割合となれり故に金利政策に依りて通貨の收縮を圖らんとせば現金通貨と同時に信用通貨をも收縮せざるべからず然り而して此の兩種の通貨に對して收縮を圖るに方りては輕微なる程度を以てしては容易に現下の物價を低落せしむるの目的を達する能はざるのみならず外は

國際的貨物

に向つて同時に其輸出を禁止するか又は大いに之れを制限せざる限り其價格の低落を見ること能はざるべし而も物價低落の爲め有効なる通貨收縮並に輸出制限を行ふ時は其結果或は事業會社の勞働者失職、農村疲弊等に依り全國一般の不景氣を將來し物價騰貴より惡影響を醸さゞるなきを保せず

兌換券の消長

次に我日本銀行兌換券發行の消長を見るに最近(大正八年七月十八日)に於ける發行現在高は九億三千五百萬餘圓是を大正三年七月の

發行現在高

三億三千一百萬圓に比すれば實に六億四百餘萬圓の增加なりとす此の增加は主として我國の對外的發展を反映するものに外ならず卽ち外爲替資金の貸付は其の額三億四千九百萬圓に及び其他滿蒙方面に對する經濟的發展並に海運業の發達に伴ひ是れに必要なる資金の供給其多きを占め地金輸出し額は僅に四千五百萬圓に過ぎず尚ほ試みに我國の對外貿易及び海運等

發展の趨勢

を見るに對外貿易は戰爭以來左の通り增加せり

大正三年 十一億八千六百八十三萬七千百八十六圓
大正四年 十二億四千七十五萬四千九百三十五圓
大正五年 十八億八千三百八十九萬六千二十八圓
大正六年 二十六億三千八百八十一萬六千五百五十五圓
大正七年 三十六億三千二十四萬四千五百一圓
大正八年七月概算 二十二億五十四萬六千圓

又海運船舶に就ては
▲大正三年五月末 二千百五拾七百三十三萬九千三百二十二噸▲大正八年五月末 二千七百七十拾二百五十三萬九千八百四十八噸

にして噸數に於て六割五分の增加隻數に於ては三割二分の增加を示すと共に

空前の發達

を遂げたるが是等は總て兌換券の增發を促す理由の原因をなすものなり是等の理由に基づき通貨を金利政策に依りて收縮するの方法を採るとせば必ずや此の增發が主要原因たる海外貿易の發展を抑止し萎縮せしむるの結果となるべく斯の如きは吾政策の大局に照して決して策の得たるものに非ざるなりと云々

官制改正案經過
勅軍令の改廢を待ちて公布

朝鮮臺灣兩總督府官制改正案は八日樞密院本會議に附議され決次第直ちに御裁可を經て公布せらるべしと傳ふる向あるも官制改正に伴ひ勅令、軍令の改廢を要するもの三十餘件に達するを以て其成立を待ちて同時に公布せらるべしと云ふ

陸相起案說明

田中陸相は六日午前七時東京驛發大磯に到り寺內伯を其別邸に訪問し會談二時間に亘り更に山縣公を小田原の古稀庵に訪問し午餐を共にし夕刻歸京したるが右は朝鮮臺灣兩總督府官制改正に伴ふ軍令の改正及軍司令官の權限に關して陸軍の起案に就き說明を爲し之に對する意見を聽取せるものなりと傳へらる

首相山公訪問

原首相は四日古稀庵に山縣公を訪問し會談數時に亘りたるが右は朝鮮臺灣總督府官制改正案が樞密院特別委員會の通過を見るに至りたるを以て之に關する公爵の盡力を謝し且つ右改正の結果朝鮮總督府設置に際して先帝陛下より賜はりたる詔勅の問題に就き意見を交換したるものなるべしと傳へらる(東京特電)

馬籍設定可決

馬籍設定の可否に就きては馬政委員會にて過般來審議中の所法規設定の必要を認め之を可決せりと(東京特電)

大連埠頭滯貨

大連埠頭の滯貨は六日四十七萬噸に上り記錄を作れり(大連特電)

鴨江材有望

第二十一回材木商大會に出席の爲め入京の大高氏名古屋の長[?]山唯七、鈴木禮四郎、鈴木德之助諸氏は閉會後數日間安東に在り採木公司當事者の案內に依り鴨綠江材に就き巨細の研究を遂げたるが何れも鴨綠江材の豐富なるに驚き特殊材樽その他は米國材代用品として內地に輸入するも採算可能なるべく普通材は採算不可能なるべきも以て資本を安東地方に放下し同地に製材として各地に販路を拓くことは相當の利益を擧げ得る旨信ありと異口同音に唱へ資金作製委員會は全國同業者より十萬圓を寄附に仰ぐことに決定內一萬圓を滿洲の會員にて負擔することに決定せり(安東縣特電)

西伯利 (14)
各國の活動振り
參謀本部總務部長 武藤信義氏談

チエツクスロヴアツク軍に對する露國民の好感は餘りに熱烈ではない其の當初に於ては西伯利人殊に

軍人側に於て

は是れを愛敬して衷心より感謝の意を表してゐたが漸次月を經る每に敬愛の念は薄らぎ感謝の意は消滅して了つた卽ちチエツクスロヴアツク軍は自分等の功績を誇り露國民に對して甚だ橫暴を極むるに至つた殊に民主思想なる彼等は稍もすれば社會黨側卽ち左黨に與し右黨に對して壓迫を加へんとしたそこで

右黨側の反感

は卽ちオムスク政府の反感となつたからであるチエツクスロヴアツク軍は一方に於て既に獨立の目的を達成した爲に露國を援助する事を無意味とした從つて恩惠的動作は絕對になす事がなくなつた卽ち本年の三月迄に歸り來つた行動を一變して歐露戰線より退きオムスクよりイルクツクの間に駐屯してゐるのであるそこで此後に於ける

同軍隊の行動

に就いては目下猶ほ軍隊の問題とされてゐる、元來露國に於ける反過激派の大部分は其當初より日本の援助を希望してゐた爲めに日本軍隊に對する好感は實に熱烈なるものがある日本軍隊の出動するや其歡迎の狀は實に他國軍隊をして羨望せしめたのである彼等露國民は露國の秩序を恢復せしむるには必ずや日本

軍隊の威力

を俟たなければ出來得ないと迄信じてゐるのであるが予が哈爾賓よりチタ、イルクツク方面へ向つた頃にはまだ日本軍隊の彼地に至らぬ先であつて其先頭部隊たる一箇小隊に護衛せられてチタに行つた時彼等は官民等しく敬意を表して盛大に歡迎をした而して後ら鐵道隊の宿舍より軍事上の電線等の要求に對しては悉く欣然として是れに應じたのみならず使用中の電信局を明け放して

我軍の使用

に給し兵營等に至つては破壞された部分を是れに當つる爲めに其破壞せる部分を修理する等少しも惜まなかつたイルクツクには一箇中隊を以て向つたが此に於いてもチタと同樣なる歡迎を受けて遂に一箇月の滯在を長うしなかつた次第であるオムスクに於ては

一週間位を

經て裁判官たるコルチヤツク將軍が就任したのであるが此處は遠にチタ及びイルクツクの空氣とは稍か異なつた卽ち聯合軍の前進の一日も早かれかしと待ち侘びたる彼等は未だ漸く貝加爾湖に迄前進し而も其儘駐屯してゐる日本軍隊に對しては少からざる不滿を抱いてゐた此處に僅か兵を率ゐて到着した予であるから感情のよからう筈がない而も

英佛に於て

は前以て連絡を執つてゐるに反して我軍隊は未だ確然たる連絡を執つてゐない爲に於て彼等の予等に於ける冷遇は一方ならぬものがあつた併し乍ら日を逐ふ每に英佛の聲のみ大にして援助の實の伴はぬ事を自覺すると共に一方極東に於ては日本軍の威力に依つて過激派軍隊は掃蕩せられたといふ事を知つた爲めに

彼等の心事

は一變して遂に日本軍隊の力を俟つ他はないといふ事を悟り今迄の冷遇は忽ち厚遇に變じ從來の態度は漸次改まるに至つたのであるが鐵道沿線に於ては今日に至る迄好感を有してゐるが今日に於る鐵道沿線は漸次彼等の諒解する處となり

大いに歡迎

する樣になつた烏蘇里鐵道沿線に於ても猶今日に至る迄好感を有してゐるが今日に於る密接は一般に我日本に對して親善の意を表してゐる(吉川東京支局)

日本銀行帳尻

五日の日本銀行帳尻は左の如く銀行券十億圓臺を越へたり(東京特電)

	(千圓)
發行高	九九六、一〇〇
正貨準備	七三二、一〇〇
限外發行	一四五、〇〇〇
貸出高	四五一、八〇〇

赤塚總領事

赤塚總領事は寬城子事件に就き打合せの爲め六日夜行列車にて歸順に向へり(奉天特電)

政務總監饗應

山縣政務總監は七日午後零時半より會計事務講習員四十八名及び講師各關係職員約六十名を京城ホテルに招待し茶菓の饗應をなしたり

最近傳染病者調
患者一千餘人

最近の調査に係る傳染病患者及死亡者數を見るに內地人朝鮮人支那人の內患者死亡者共鮮人最も多く患者一千零七十五人內死亡者二百六十七人次は內地人患者三百六十五人死亡者六十人支那人患者三人にして合計患者一千四百四十三人死亡者三百三十一人なり而して之を病名に依り區別せば腸チブス五百五十九人を最高とし痘瘡の三百六十八人之に次ぎ赤痢二百二十四人發疹チブス百八十七人パラチブス九十一人チフテリヤ十五人猩紅熱七人にして死亡者の最も多きは痘瘡の百三十五人腸チブスの九十一人赤痢の四十八人發疹チブスの三十一人パラチブスの二十一人チフテリヤの三人猩紅熱の二人にして地方區別によれば患者及び死亡者を通じ京畿道最も多く四百六十一人平北二百三十二人慶南二百八人平南百七十人黃海百六十三人江原百五十人慶北百五人忠北四十人咸北三十六人忠南二十五人なり

平壤移民問題
東拓當局者の談

平壤附近岸船橋里に於ける東拓の移民收容に關し平壤中の一部の會社卽ち電氣興業會社の敷地問題は平壤中に往年收容し居れる移民三十戶あり該移民に對し過般現住の地より他に移轉するやう相當の條件を以て提示したるは事實なるが右に對し移民側に於て種々の要求ありその背後に何等かの人物もあるやの疑ひあり旁々難色ありて興ふ會社としては是非とも該移民收容地を得ずとも可也との目論見にて工場その他の設計を終り新築に着手したる次第なり唯右移民が東拓の指定せる條件にて移轉すれば該地は社宅等に充て得べきも尚過當の要求を固執するとすれば他に適地を選ぶに困難にあらず從つて此の分その儘にて經過すべし會社としては決して移轉を强要することなく平壤地方にて八釜しく問題とさる、理由を解するに苦しみ居れり

支那關稅改正
鐵道の扱方

八月一日より實施されたる改訂支那輸入關稅率につき鐵道にては左の如き方法により取扱ひをなす由

(一)改訂稅率は八月一日又は其以後に本國港(停車場)を發送したる貨物に對し適用せらるゝものとす七月三十一日又は其の以前に於て支那に向け本國港より發送せられたる一切の貨物は舊輸入稅率の適用を受くべきものとす前項貨物の發送の日附は鐵道に依るべきものとす

(二)安奉鐵道に依る鮮滿國境經由支那へ輸入貨物に對し改訂稅率の上に其の三分の一の輕減を受くべきものとす

東拓內債賣出

東拓の內債五百萬圓は既報の如く東京神田銀行に於て引受け數日前より賣り出しに着手したるがその條件は左の如し金額五百萬圓、利率年六分五厘、發行價格九十八圓五十錢、償還期限二箇年間右社債は主として地方に賣出す方針にて各地方銀行を勸誘しつゝあるが應募成績は良好にして近く締切るに至るべし

東亞新株未定

東亞新株の公募々入決定の報は未だ何等の各銀行に來らず申込者は何れも迷ひ居り某銀行の如きは數日前電報にて照會せしも返事なく一部にては氣をくさらし居れるの樣なるか或は申込中に外何人の疑ひありその調査に日をするにならずやとも云ふ

畑作物旱魃高

夫の旱魃にて鮮農方面の作物は著しく被害あるが殊に畑作物は殆んど悲觀され居りを以つて大豆小麥の如きは農民の間に一て値段高張り最近內地より注文あるも全く出合はず小麥の如きは逆に一圓高を示し居れり尚ほ旱天續かば畑作物の價格は殆んど亂調とならんやと

仁川期米昂騰

仁川期米は大阪相場に比し六日前場より高張り居れる處買人氣の買値は鳥[?]むべからず七日前場より大阪相場の繼續なくも思はざる日和に買煽られて立ち行き附四十三圓十九錢高値五十五錢と躍進し四十四錢に打止めたるが日先は大阪次第にて必らずしも多く京阪の期米を顧慮せざるべしと

講習會終了

去月十五日より永樂町法制研究會に於て開會中なりし計算事務講習會は八月七日を以て終了し同日午前九時より終了式擧行荻田總務長の訓示あり次いで講習員四十八名に對し夫々講習證書を授與し前日は講習員一同に對し試驗を擧行せり

教育會茶話會

朝鮮教育會主催の教員講習會講師招待茶話會は六日午後四時三十分より京城俱樂部に於て開會關局の挨拶後模擬店を開き終りて小田編輯課長及び會員の五分間演說あり當日は上田京城學校長、官立岡田編輯官、岡本普通學校長等も出席したり

株式公募

資本金二百萬圓を以て內地有力者の間に計畫され北鮮のツルチユクの醸造株式會社は五十萬よりも十一月まで株數五千株を公募す[?]にて取扱つゝあり未だ申込に應じにつき目立ちたる申込になく併なれど當局及び製造品の良好並に當局の實質未だよく一般に知らされ居らざるを以て申込み得易からず又申込まんとする者も相當の考慮を費やす必要あるにつき許の申込みすべきかは豫測し難きも大口の應募者相應にあり京城のみにて募集株數を超過するに至るべしと目されつゝあり

鐵道局長巡視

青木鐵道局長は十一日より森井副參事を伴ひ平元鐵道の海南浦价川の各私設鐵道を視察の爲め出張十八日頃歸任すべし

前田大佐出發期

新任福岡東憲兵隊長前田大佐は愈々十日夜北行列車に搭乘赴任する事に決定し七日各方面を歷訪し暇乞の挨拶を爲したり

○大島副官歸城 東上中の長谷川元帥副官大島大尉は一兩日中に歸城の報あり

人事消息

▲齋藤清太郎博士(東大文科教授)七日朝釜山上陸慶州其他各地視察の後十四五日頃入城の豫定(釜山特電)
▲松崎時勉氏(朝鮮京務)一兩日中に東上
▲米山久彌氏(朝鮮電氣興業專務)七日朝南大門發平壤に赴任
▲吉田鮮銀營業局長 八日東上の筈
▲青木戒三氏(鐵道局長)十一日出張の豫定
▲奧田貞一郎氏(臨軍少將)新任地龍山へ十五朝着任の筈

財界閑話

▲朝鮮銀行の公衆溜り改造も大分進んで來て此の中旬には四字形の新出窓から出來上る▲鳥渡內部に入つた許りでは全體の建物が宏大な故かあそこの公衆溜りもそれ程大きいと云ふ氣もせぬけれど實際の設計によれば南山の本願寺がゾボリと入つて終ふのださうな▲中西營業課長曰ふ『これ程宏壯な公衆溜りを持つた銀行は我國では勿論の事世界にないらしいぜ、米國の銀行家なども參觀に來て吃驚して居る』と▲其の世界の一の公衆溜りを彼れ是れ七十坪も事務室に潰すのも惜しいものだが行務が滅茶苦茶に膨脹した結果だから止むを得ないらしい▲公衆溜りの模樣替へ事務室の擴張がすめば表面の橫田庶務局長、八面の應酬に混雜なき爲め庶務課長等も下に下るとの噂さだ▲序でに鮮銀には新聞記者室がなくて不便だと日はれてゐる、今までは事實空室が少なくて止むを得んだつたらうがそ、中設けたらよからう、鮮銀は總裁副總裁吉田井內兩局長東上、三島理事引き籠り、大田理事歸還で、片山理事と橫山庶務局長が留守居格である▲『人材拔底、此のあついのに何しろ繁忙だ』してゐる▲然し君は局長室でポカ〳〵印を捺してゐる▲然し君は飮藥にも庶務にも調査にも檢査にも皆て關與し、何でも出來る人ださうで手は八丁であらうが少なくも口は八丁ならずとも旁々君がゐれば行務の澁滯はあるまい

三ヶ月卒業 通信教授
事務員養成
●銀行會社へすぐ就職が出來る 本所は多年の經驗に依り銀行會社に於て適當な社員を養成し各方面に於ける急速なる需要に應じて就職せしめつゝあり入學者は卒業と同時に就職の特典あり各自の學力に應じ家庭に於て餘暇に勉强し得る小學卒業以上の男女は必ず得る所あり其他諸種の特典あり規則書は申込次第
東京青山南町 銀行會社員養成所 本會は高橋博士を會長とし專ら

小學教員
師範入學志望者の爲めに 師範入學志望者に受驗準備講義錄を發行し多數受驗者中必ず合格の榮冠を得せしめ今回百名に募集諸種の特典あり入會希望者は申込次第規則書進呈
東京青山南町六 日本師範教育會

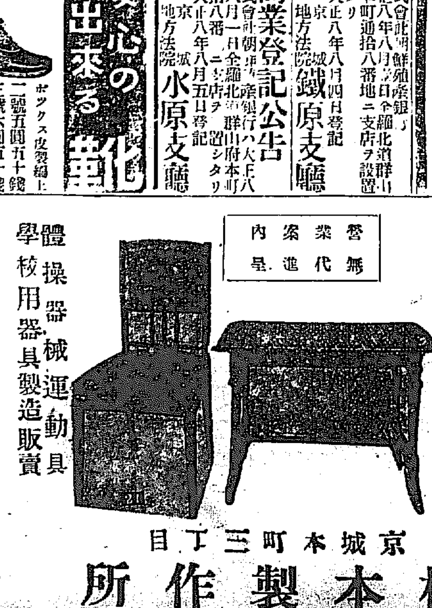
洋鐵鋼材料 バルブ工具品類 鑛山用品 一般工業用品
瓦斯管
商報御一報次第送呈
カナエバツキング會社代理 京城南大門通二丁目 合資會社 南方商店 電話長一六八九 振替一七五六 一九三四

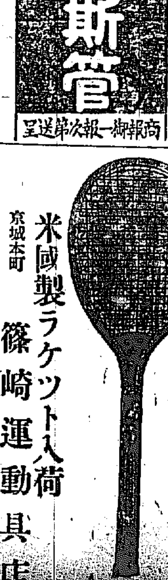
商業登記公告
株式會社朝鮮殖產銀行ハ大正八年八月一日全羅北道群山府本町通拾八番地ニ支店ヲ設置シタリ 右大正八年八月四日登記 京城地方法院鐵原支廳
株式會社朝鮮殖產銀行ハ大正八年八月一日全羅北道群山府本町通拾八番地ニ支店ヲ設置シタリ 右大正八年八月五日登記 京城地方法院水原支廳

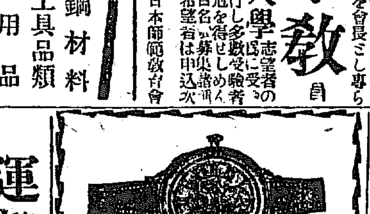
安心の出來る靴

ボツクス皮製編上 一號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢 五號八圓五十錢
ボツクス皮製短靴 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢 五號八圓五十錢
ボツクス皮製深ゴム 一號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
右は精撰せる材料と熟練せる技術を以て入念に調製し一般紳士淑女に最も好適なり御注文の節は靴の種類代金及足袋文數を御通知被下候へば御送付申上候 見本型錄進呈
東京府豐多摩郡 日野製靴店 振替東京一二九五一

開店御披露
開店披露の爲め八月十五日迄で正札より五分引にて御用命に可應候間何卒御引立の程奉願上候
營業科目 皮毛 虎皮、豹皮、獺皮、其他毛皮類 鞄 其他 旅行具一式
京城本町二丁目(元シノサキ支店跡) 永松商店 電話一五八八番

營業案內 無代進呈
椅子、テーブル、其他 室內裝飾品 和洋家具類一式
體操器械 運動具 學校用器具製造販賣

京城本町三丁目 松本製作所 電話一四八九番 振替京城六二三八番

運動具全部荷揃

米國製ラケツト入荷
京城本町 篠崎運動具店


瑞西製 腕時計新荷着
十八金十形アンクル十五石入 金四十二圓
十ケ年純金張十形 金十二圓八十錢
銀側十二形アンクル十五石入 金十五圓
ニツケル十三形アンクル七石入 金十三圓五十錢
小包料各十八錢宛
京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

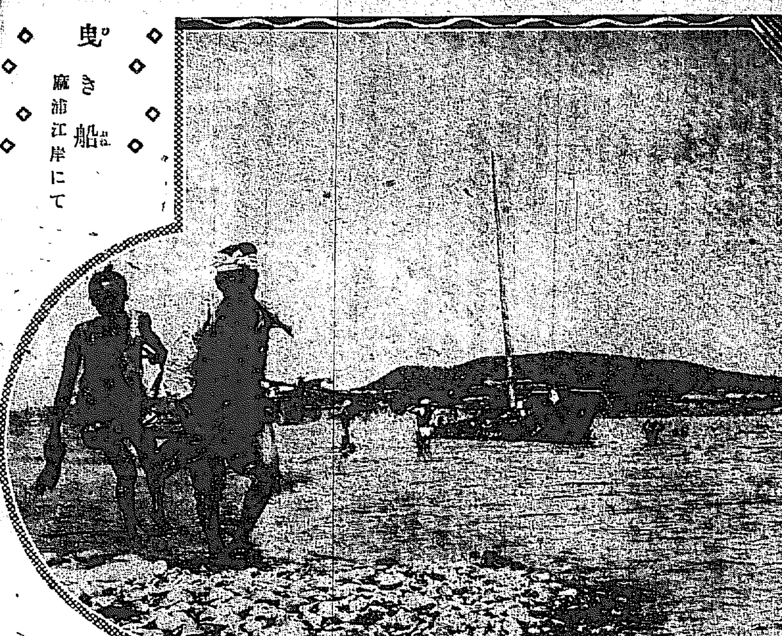
エーアイ塗料販賣
△エーアイ塗料用途 壁、天井、ドアー、窓、羽目板、紙壁、煉瓦、石、セメント、モータル、木材、金屬、ボイラー、煙突、ペンキ下塗
△エーアイ塗料の特徵 耐水性大なるを以て風雨雪に耐へ著しく耐久的にして決してボイラー煙突等に塗布するも剝落の患なく且光澤なきにより他に塗布して附着の心配なし又ペンキの如き臭氣なく且つ經濟的なること他に類なし
△朝鮮總督府中央試驗所に於て研究の結果發明せられたる朝鮮總督府中央試驗所各官衙指定品なり
朝鮮一手販賣元 京城太平通り二丁目 石炭商 西崎商會 電話七二七番 振替京城三二七

此上の歡喜なし

新聞休刊事件解決の光明を得て床次内相語る

『官相の問合に逢うて恐懼し次で不逞の流言を憂慮した』

一時の紛擾から帝都に於ける凡ゆる新聞紙は休刊し世は忽焉として闇黒と化した感に打たれたのだが 幸に解決を 告げて四日夕刊から發行を見るに至つたのは實に喜ばしい右に就き廳てこの問題に對して尠からず憂慮を示して居た床次内相は語つて曰く『今回の如き事件が世界に例のある事か何うかは知らないが 報道の機關 が一齊に休止したと言ふ事、しかも夫が帝都に於て起つたと言ふ事は洵に由々しき大事件と認めねばならぬ畏くも本案より深く民情に御軫念を注がせ給ふ 天皇皇后兩陛下には毎朝新聞紙を御覽あらせらる、關係より 宮内大臣は 自分に對し休刊の事情に關し問合せを發して來られたし、華族の方々からも尠からず問合せがあつた夫れでこの事件に就いては私共も密に恐懼して居る次第であるあれでは外國の事情は愚か内國の事情さへ少しも判明らないのだから世上 一般の苦痛 は言ふ迄もあるまいと思はれる、殊に私は斯る機關が無い事になると不逞の徒が之を奇貨として流言蜚語が盛んに行はれはすまいかと非常に心配して居つた次第である、夫で一日も早く事の圓滿解決を望んで止まなかつたが幸ひに 早く光明を 見出したのは寔に慶賀に堪へない』云々



曳き船 麻浦江岸にて

禮服が簡便になる

内閣で新に規定

持つて太刀佩てまさに案山子かな——でもあるまいといふので近く諸官廳の禮服が簡便になるこの話に付内務大臣秘書官は語る『これは今度内閣の方で申合せて定めた事で宮中の如き特別の服制ある場所の外はフロックコートの代りにモーニングの背廣か或は紋付の羽織袴を著て宜いといふ事にし五六日前既に諸官衙に通告があつた譯ですな、けれども役所で事務を執つた通りに成る可く簡便に宴席に列せられるし又一方何となく質朴な平民的な心持にもなれるので喜んでる者が多い確に時宜に應じた好い規定が出來たと思ふ』云々（東京）

京都では外米を強制的に賣る

京都米穀商協議員會では協議の結果愈々内地米騰貴に對して必ず三割以上の外米を添へて賣出す事に決定し其旨を府に報告する處があり府からは至急米穀商全部に對して之を實行すべき旨四日附通牒があつた實行の上は一升に就き現在價格より四五錢方安くなり一等米五十錢下となる筈（京都）

内地は大豐作

氣候が頗る順調な爲め農家は一般に大福々だ

國民生活を今日の如く紛糾させた米の今年の作況は先づ非常の好成績である、農事試驗場の安藤技師は語る『土用に入つてからの天候は先日の 颱風の影響 で曇つた晴れたり降つたりして氣温の著しく低くなつた數日間を除くと米作上日本全國一帶に例年に比べ物にもならぬ位非常に良好だ又先日の颱風の影響とても之位の事は毎年夏季に於ては屢々ある事で別に大して損害を與ふる程度に迄は至らず目下の所では米の作柄は水害の厄を蒙つた廣島縣下又は茨城縣方面の 局部的旱魃 地等の二三を除くと全國一帶に非常の豐作で到る所農民は大の福々顔で居ると云ふ事であるが實際此上ぜずにカラツと暑く時々は夕立で押し進み八月一杯だけ蒸々もあると云つた風の天候でさへあつて呉れゝば本年は立派に平年作五千三百萬石と云ふ數字は突破した大收穫を見ることは疑ひない、併し假令其の收穫が 平年作以上 であるとしても最早今日では其生産額が消費量に比して遙かに尠いのは疑ひもない事實であるから國民が平年作以上だとか豐作だとか安心して居ると、又もや來年の端境期迄には内地米不足續いて米價の暴騰と云つて騷がねばならぬ樣になるのは火を睹るよりも瞭かだから國民は早々も代用食を取るとか 節米方法を 十分に講じて非常の場合に面喰ぬ樣今から備へておかなければならぬ殊に本年の如く米が足りぬ米が足りぬで一俵たつて此端境期を持越す分があるまいと想はれるやうな年に於ては尚更のことだ』云々（東京）

病院列車運轉

門管の新しき試み

門管局にては列車病院開設の新しい試みを爲し八日午後第一回の病院列車を門司驛發筑豐線へ運轉せしむべく準備中也同病院車には醫員及び藥品治療器具等を乘せ全線從員及び全家族の病氣々診察投藥し尚旅客職員の死傷病氣に付いての應急手當を爲し先づ第一回は五日附設運轉の豫定にて漸次全線に及ぼすべしと（門司）

女醫界を代表して米國へ

井上女史我

來る九月十四日より紐育に開かるべき萬國女醫大會には部醫學井上さん子女史我女醫界を代表して出席するに決定し來る二十一日解纜の丸にて出發すべし（東京特電）

米國人の大飛躍

西伯利で支那人を手先に使ひ

米國實業家の西伯利活動は實に素晴らしいものである、最近露貨が暴落したのも大原因はそのためであると云はれてゐる、殊に浦鹽に於ける露貨の暴落は殆ど 極點に達 して遂に三千萬を突破し昨今は四千留の喧さへある、之れは實際未曾有のことでその原因は西伯利軍が烏拉爾戰線で敗退したためとは言はれてゐるが、その實決してさうではない、何かといふに前記の如く米國の資本的活動にあるのでこれが大原因をなしてゐるのである米國の實業家は支那人を利用して盛んに 日本貨物 を買ひ煽つてゐる、其の結果は露貨の暴落を來して露貨は極度に低落しつゝあり、而も極東方面に於る日本商人の信用はそれが爲に破壞されつゝある、米國商人は其の隙に乘じてオムスク政府と借款を締結して茲に露貨持直しの功名を 一手に收 めんとする魂膽があるのである、實に彼等の裏面に於ける飛躍は目覺しいものである、其の爲に目下浦鹽には日貨乏しく在留邦人は閉店して暫く成行きを傍觀してゐるもの相次ぐの有樣である（某歸客談）

持て餘す

虎軍の跋扈 張奉天督軍

多年の懸案たりし吉林の孟將軍を追ひ宿志漸く成りたる張巡閲使も虎列拉の跋扈には殆ど手も足も出ず五日巡閲使公署より諸患者六名を出し當局の懊惱なり兎に角非常に猛烈にして且つ赤十字病院は別項の如く又滿鐵醫院も疑似患者を出す等今や内地人方面も全く安心する能はざるに至れり（奉天特電）

又しても怪火騒ぎ

例の大連埠頭

五日午後三時三十分大連埠頭岸壁第六野積場の大豆より發火し大事に至らんとするを受持ち看守が見し消止めたり（大連特電）

虎疫菌を撒き歩く

大連の出來事

帶菌船員が脫出して 大連灣內碇泊中の佐川丸火夫筑紫進治（三三）は過日來虎列拉の帶菌者として同船に止め置かれ水上署巡査一名之が監視をなし居たるが二日午後十一時過ぎ監視者の隙を見すまし同僚山本世三松を誘ふと共に拔け出し電車にて逢坂町 に至り茂宇加樓に登樓令助を敵娼として遊興をなし翌三日午前七時まで居たるが其間三四回便所に至りたりといふそれより逢坂町にて露店の氷屋に立ち寄り又浪速町の各店舖を素見し又埠頭に歸れるが佐川丸にも歸れず灣內碇泊の土佐丸に至り食を取り同土用丸に至り三日午後二時頃まで遊び居たるが一方 水上署 及び民政署警務課にては各日曜の事とて出勤者少かりしかば非常召集をなし三方を出し市內各飲食店其他上等の大搜索をなせしも判明せず大周章の有樣なりしが午後二時進治は土用丸に居るを發見せられ直ちに海務局收容所に收容され茂宇加樓、氷店、土佐丸、土用丸は 大消毒 をなし特に茂宇加樓は五日間の營業停止となりたるため一日二百圓の水揚としても五日間一千圓茂宇加樓は『モワカラヌ』事となれりと（大連）

歐洲戰の戰死者

總計七百四十五萬人（米國陸軍參謀本部調査）

米國陸軍參謀本部の發表する處に依れば歐洲大戰中の全軍（日本を除く）戰死者總數は七百四十五萬二百人にして其內譯左の如しと

露國百七十萬人△獨逸百六十萬人△佛蘭西百三十八萬五千三百人△英國九十萬人△墺太利八十萬人△伊太利三十六萬四千人△土耳其二十五萬人△塞耳維亞山國十二萬五千人△白耳義十萬二千人△羅馬尼十萬人△勃牙利十萬人△米國五萬八千九百人△希臘七千人△葡萄牙二千人

網羅せん

朝鮮馬も出陣 天下の駿足を

會長鈴木穆氏談

我々年來の希望である體育奬勵と馬趣味の鼓吹普及と云ふ事と半島未曾有の壯擧であり馬改良の意味を兼ねて半島未曾有の大競馬會を擧行する事になつた丁度今秋十月の十七日神嘗祭當日から三日間龍山新練兵場でやります出場馬は勿論內地の駿足も澤山集まる筈で更に李王職や其他各種馬所に飼育してゐる純朝鮮種及び朝鮮から朝鮮産馬の改良上にも裨益する處が尠くあるまいと確信してゐる軍隊側も非常に此擧に賛意を表され多大の盡力を與へて下さると云ふから當日の盛況は今から想像するに難くない殊に協議委員は夫々東京横濱神戸等へ照會して此の意義ある壯擧に天下の駿足を悉へて網羅する手筈に取かゝる筈す』

競馬大會の期日

十月十七日より三日間と決定 總督府陸軍側より大々的に應援 根岸鳴尾に劣らぬ盛況か

朝鮮産馬の改良に就いて官衙軍隊側では從來種々の施設もあつたが最近は民間でも此に對する研究と實行が盛んになり其一助として平壤鎭南浦全州等では既に盛大な競馬會が催され京城でも此種の計畫は前からあつたが愈々今秋十月を以て京城乘馬俱樂部主催の下に官民合同の大競馬會を開催する事になつた其概略は既報の如くであるが聞く所に依ると期日は天高く馬肥ゆると云ふ晩秋十月十七日神嘗祭の佳辰を以て其第一日を擧行し續き十八十九（土曜日曜）の二日間に亙て是を擧行するので總督府は勿論軍司令部師團司令部等軍隊側から大々的應援ある筈であるそして各道から選拔された優良馬匹が續々入城して競技に參加する上內地よりも斯界の名馬名騎手多數參加すると云ふから恐らく滿鮮の根岸大阪の鳴尾以上の盛況を呈するに違ひない今度の計畫に對しては總督府よりも相當補助金の下附あり京城乘馬俱樂部では鈴木穆長官賀氏長飯泉氏秘書役瀨戶留學十野村俱樂部主任が中心になつて諸般の計畫を進めてゐる

競馬大會協議

京城乘馬俱樂部は今秋擧行の競馬大會に關する件に就き六日午後七時より朝鮮ホテルに關係新聞雜誌記者を招待し晩餐を共にしたる後會長鈴木穆氏より挨拶あり藤村本社支配人謝辭を述べ主客懇談を交へて競馬大會に關し協議を遂げたり

茨城疑獄事件判決

茨城縣多額納稅議員選擧疑獄事件は六日午前貴族院議員高崎二重郎禁錮四箇月以下夫々判決ありたるが政友會幹部は原代議士以下全部無罪を宣告されたり波多谷十之助奥村浚次郎は禁錮三箇月なり（東京特電）

要求容れらる

川崎造船の增給問題

員に一割の增給を要求せられたる川崎製船出張所にては初めの間は要求を拒絕し居りしも時節柄に鑑み要求通り一割を增額し圓滿に解決を告げたり（大連特電）

宗演師危篤

臨濟宗圓覺寺派管長釋宗演禪師は腎臟炎にて危篤に瀕す處なり

朝鮮全道の變死者

總計八千餘名

大正七年中の變死人員を見るに朝鮮人最も多く七千八百八十九人次に內地人にして二百四十五人支那人七十四人總計八千百八人 原因に依 り區分すれば自殺に由る者鮮人八千百四十五人內地人八十七人支那人九人內最も多きは縊死にして五百八十人最も少きは刃物又は銃砲に由る者三人なり災害禍に依る者は六千五百四人內地人百三十六人支那人四十四人內最も多きは途上發病に由る者二千二百六十七人最も少きは火藥爆發に依る者十六人なり而して 之を道別 にすれば京畿九百四十九人忠北三百二十一人忠南五百八十二人全北六百六十人全南九百九十九人慶北八百四十二人慶南一千六十人黃海六百廿七人平南四百九十八人平北四百五十二人江原五百十四人咸南三百八十四人咸北百三十四人なり

雷の新弟子

十八歳で身長六尺 重量十八貫

富山縣婦負郡八尾町大工職上野井次郎次男一信（十八）は重量十八貫身長六尺あり豫て東京力士たるべく希望し居たるが今回富山に於ける玉椿雷退相撲の際に元の梅ケ谷たる雷の來富を機として弟子となり城下山と命名されたり

大連にも發生

三日午後三時福昌公司使用の苦力一名虎列拉に罹り六日午前遂に死亡したり又兒玉町に住居せる漁夫石井龜吉（三〇）も五日午後四時虎列拉に罹り六日午後二時死亡したり（大連特電）

水原の巡査殺し

今七日豫審決定す 內亂罪として高等法院へ 金賢默以下二十四名

川端巡査 を慘殺し[illegible]所及び警察官駐在所を襲擊したる水原郡騷擾事件被告金賢默以下五十一名は豫て京城地方法院西山豫審判事の手にて取調中なりしが右は七日終結被告元長安面長金賢默外二十四名は內亂罪として高等法院の手に移され元巡査補吳殿泳外二十名は證憑不十分として 免訴放免 されたり同豫審終結決定書によれば京畿道水原郡長安面鄭在里元長安面長金賢默（三）外二十四名は大正八年三月一日天道教主孫秉熙一派が朝鮮獨立の運動を起すや直ちに一味となり京城の孫一派と連絡し長安雨汀兩面の住民を煽動し遂に四月三日午後暴動を起さしめ全郡民を 煽動演說 を敢てし群集をして群集に入らしめ遂に二千餘の大集團となつて獨立萬歲を高唱し長安雨汀兩面事務所を襲ひ（更に雨汀面花樹里なる警察官駐在所を襲ひ火を放して之を燒きたる上巡查川端豊太郞を包圍し棍棒石を以て同巡查を亂打し遂に死に 至らしめ附近一帶を騷擾せしめたるものにして以上の事實は證憑十分なりとするに右被告等の所爲は刑法第七十七條內亂の罪に該當するものにして高等法院の特別權限に屬する事案なるを以て是を管轄違ひと決定すとあり

天鬼現はる

蒙古方面より

牧畜其の他土地に關する件に就き蒙古方面旅行中なりし大鬼渡益三氏は六日歸來大星ホテルに滯在中なり（奉天特電）

新義州の汽車檢疫

一兩日中に開始

南滿洲地方虎列拉猖獗の爲めその筋にては專ら力を新義州の防疫事務に注ぎ坂東衛生課長原技手出張し嚴戒に努め居れるが警務總監部にては滿洲地方の狀況に鑑み六日夜赴任すべき坂東課長の歸着を俟ち愈々新義州驛に於ける汽車檢疫を開始すべく告示を發せらるゝ由なり因に新義州以外に於ける汽車檢疫は目下の處未定なりと云ふ

蔚山の洪水

死者十一名

慶尙南道蔚山郡下北面德峴里には四日午前二時頃洪水襲來し家屋全潰六、死者十一、行衛不明一、畜牛斃死三を出だせり

虎列拉彙報

奉天の新患者 五日奉天赤十字病院より患者布川卯一郎（三〇）疑似虎列拉と判明せし爲め同病院は大騷ぎとなり入院患者多數を退院せしめ病院を一時閉鎖するの止むなきに至れるが六日午後二時頃醫學堂にて同人の解剖を行ひたる結果に依れば全く眞性なりと決定せり（奉天特電）

灯

◇數日前歐羅巴を經て西伯利方面より來城し目下朝鮮ホテル滯在の一旅客は佛蘭西人なりと言ふが◇此の人物の目的は素より英佛露等の言語に通ぜぬ爲め一切旅行の目的も將た其他も不明なるに肝心な旅館の人達もありて大いに困難して居る◇只國の關係上佛國領事館に照會して多少の事情も判明した相だが何とか方法講究中だ

本日温度（午後二時）

▽京城 華氏九十二度（本社觀測所）
▽仁川 同 八十九度（本社支局）

早大は十五日

早稻田大學庭球部は近く滿鮮遠征の途に上る由京城へは來る十五日朝監督として一行は選手十九名に高杉教授附添ひ十六十七の兩日全京城軍と庭球戰を試みたき旨朝鮮體育協會に宛て電報ありたりと

慶大選手より

慶大野球部一行は安東を經て無事奉天に到着し驛前大丸旅館に投宿元氣旺盛滿鐵本軍との決戰を俟ちつゝある旨八月五日附にて本社宛來信ありたり

選手へ

篠崎商店では高商と決戰を試みる爲め目下明治町三井物產コートにて猛烈な練習を續けつゝある全京城軍に對し每日氷二貫目宛を寄贈して選手の勞を慰しつゝあり

運動界

高商軍來期 九日朝か

七日入城の豫定なりし東京高商庭球團は奉天に立寄りたる爲か旅程變更されたるもの如し一行が安東縣に到着すれば其旨入電がある筈であるが未だ入電のない所から推すと入城期は多分九日朝なるべしと猶全京城軍は日々明治町三井物產コートに猛烈な練習を續けつゝあり七日は午後五時より紅白の練習試合を擧行したが戰士の意氣天を衝き却々の觀ものなりき

赤痢病發生

市內黃金町三丁目二百五十九番地寄川春吉（三）は五日赤痢と診定隔離されたり

立秋

八日は立秋なり『涼風至り寒蟬鳴き、蒙霧升降ふ』ころなりて京城時刻にて立秋に入る節は八日午後十一時五十分なり、さしもに長かりし日足も漸く詰りて京城に於る八日の日の出日の入を見るに左の如し

日出 前五四二 日入 前七三六
晝間 一三、五四 夜間 一〇、〇六

給仕數名採用す

編輯局に增員して使用す內地人に限る希望者は晝夜を問はず本社受附に申出でられ度し

京城日報社編輯局

海では散々な

東京相撲府木山、大錦、大阪相撲大錦、朝日山以下 今回の合併角力は六月十 [illegible] 先年太刀山が朝鮮巡業に船に乗りて以來風浪荒く一同 [illegible] 十月は大阪方と別 [illegible]（門司）

仁川期米

七日後場

一般人氣引立ち當限四十三圓五十錢 [illegible]

演藝案內

大正館 日本活動寫眞會社特約 櫻井町 電話八七三 ◎◎滑稽劇『アンドリー島』 實寫『マルゼル』 伊太利アルマンドザエー會社作 大活劇 死の競爭 全五卷 大悲劇『罪』 全五卷

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 八月七日より特別興行 名猿ジャッコー 五卷 水戸黃門漫遊記

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

文樂座 本町五丁目 電話二三八番

交際上手 談話演說の洒落

交際會合の秘訣 典隆堂

マラリア特効丸

有効價値シテ實證ヲ博セル 定價 販賣店 各地有名藥店 本舖 林藥房 京城本町一丁目 代理店 山岸天佑堂 代理店 大黑南海堂 代理店 森田草藥堂

石鹸製造

マルケイ(K) 化粧石鹸 洗濯石鹸 神戸市 本店 株式會社

京城名物 金剛まんぢゅう

松實 花松 入

かつけ患者も 精糠

如何なる重症の かつけ患者も のめばキツトきく 全國各藥店にあり

金指輪 進呈

金華堂本舖

第五版

東西合併相撲

[illegible]京上したるが瀋路神戸に向ひ[illegible]朝鮮人は角力に[illegible]ひたる年寄入間川は語り曰く[illegible]今回の巡業にも相當の[illegible]東西兩力士共非常の元氣なりし[illegible]京都を經て大阪の國技館[illegible]

北京より（三）
…東交民巷…
長城生

◎正陽門を入つて右方、崇文門との間、東に南、西に北面したる一區を東交民巷と稱し手國の公使館街に成つて居る、即ち支那の對外問題は恐く此の一區域中の堂館中に發案せられ謀り、指導され爆動されて居る、北京市中に別天地の如くに完成せる入道、欄若たる路樹、洋風の建物等凡て一つの特權なる一文明國が包蔵して居るかの觀がある此の區域には支那人の居住を一切禁止し軍事警察の諸般等も凡て各國の手に由つて行はれて居る、背後は城壁に據つて內外を戒し前方は嚴に二町許りの練兵場を控へて此の際は防禦區域として居る北京に於ける各國公使館區域の裝は頗る嚴重なものである、支那人の之れを見て心中甚だ平ならざるは誠に無理からぬ次第である、此の區域は咸豐年間から租借されて全く支那の主權の働き得ぬ處である

◎支那の外交は古來最も古く遠き戰國時代より已に國際外交の駈引に就きてはあらゆる權謀術數が用ゐられ外交の歷史的敎育に至つては世界各國より遙に優れて居る筈であるが近世の外交に至つては對外問題の度毎に失敗の歷史を繰返して其の結果は今日の如き狀態を馴致し首都の正面に列國の爲めに租借外交地區を獲得さるゝに至つた、畢竟するに彼等が外交術に心得たる以夷制夷主義又は遠交近攻主義、術策を外交の最善手段とした結果、他ならぬ處である今回の巴里に於ける支那講和使の態度の如き支那の外交史を一讀した者は些か怪しむに足らず寧ろ斯くあるべき事は最初から判り切つた事實であらねばならぬ、而かし乍ら支那要路の外交が今猶常に姑息な術數を弄び其の結果は毎度乍ら自國に不利を醸しつゝある一面に於て支那の國民外交は蔑想外に發達し其の[illegible]目の對外策は從來無力[illegible]せられて居つた學生商人等の間に勃然と興起し其の方針は勿論排日貨化せらるゝに至らないが將來の支那外交は刮目に値するものがあるであらう今回の排日は、排日貨騷動の如きも此國民外交の發露に他ならぬ處で我日本人たる者は此等の點に就て深く留意する處がなくてはならぬ

◎北京の公使館は正陽門の方から米國、獨逸、白耳義、露西亞、和蘭、日本、伊太利、佛蘭西、墺國等であつて各國公使館、兵營、銀行、官邸は何れも此の區域に設けられる米國の例に依つて[illegible]

戰後に於ける
列强の經濟戰（一）
平井仁川稅關長談

仁川夏期講習會に於て平井仁川稅關長は生活問題と列强の經濟戰と題し第一回講演を爲せり左に其の大要を掲ぐ（仁川）

吾人が生活を維持する上に於て缺くべからざるものは衣食住の三つである事は云ふ迄もない、此の缺くべからざる三者の內に於て最も重大なる第一の問題は食である即ち食ふと云ふ問題で人類は此の生活上第一の重大問題たる食糧に就て如何にして食ふべきかと云ふ緊急且重大なる問題に迫られて居る、言を換て云へば所謂戰爭の脅威である、而して我々の祖先の時代に於ては此の食糧に就ては必ずしも食を已の國に生産するの必要なく[illegible]に其の必要を感じ[illegible]

金錢萬能
主義の思想は一[illegible]即座に解決出來ると云ふ[illegible]る思想は今回の大戰に依て悉く破壞されたのである、此の思想の變化は世界各國が爭つて食物の蓄積を計り食物生産を奬勵して如何にして自ら食物を充分ならしむるかに努力する樣になつて來た、恰も彼の冬籠の準備に急ぐ蟻の如く今日の食糧に饑迫を感ずるのみならず一朝事變に遭遇する不時の場合に處するが爲には先づ何物を措いても食糧問題の解決を計らなければならぬと努力する樣になつて居る將來の人間は實に彼の蟻の如く蟻の活動に學ぶ點が多くなると思はるゝのである、戰爭を經過して我々人類の痛切に考へて來た事柄は世界平和である吾人の一點にあるのであるが今日での思想は實に此の世界平和は未だ〳〵平和は一面の理想に過ぎずして平和を理想とする國に於ても平和を理想とする事が今日の理想になつて居る世界列强何れの國に於ても立國の政策を定むるには必ず此の戰爭を必要とし法律の制定其の他百般の施設悉く之を以て理想と爲されて居るのである斯の如くして今日世界各國に於ける事の思想を[illegible]

戰國の政府
は如何なる政策を執りつゝあるか第一に注意を要するは食糧生産の點で此政策は最も重大なる問題として列國の必死の力を致せる一つの事柄である之れを觀察中[illegible]

北滿葛藤の眞相
奇怪なる風說…支那人の心理。
（下）　奉天支局　老禿生

ば第一米國では豊耕作の排斥が婦人の間に起つた事は著名な彼の禁酒運動が起り米國の下戸は戰時中安閑として貰を嬉しく、陶然として酒を飲むべき場合でない、宜しく之れに代へて一個の鷄卵麥一俵の麥じも可なりよく多く生産を計れと云ふのである、第二に執りし政府の手段は生産せる食物の分配で如何につた、之れを平等に分配するかと云ふ事である

は之れに關聯して食物の消費制限であつた之等は各種の方法で以て或は大人にパン何斤小兒に牛乳何合と色々に行はれて居るのであるが此の各國食糧消費の制限は、爲に當然の結果として缺乏の輪出を禁止し或ひは制限が行はれ今日に到つて再び列國は斷然たる鎖國方針を執る樣になつた之を名づけて新鎖國主義と云ふるのである

放つ不思議な働きを持つてをる此の炭素が元となつて澱粉が出來る、次に脂肪や蛋白質やセルローズとなるのである、かう云ふ譯であるから植物にとりては日光は無くてならぬ大切な物である

誠明氏は前述の如く高師長の下に第三旅長なりし誠事件に發展により高氏免職となり其後を襲ひ今回師長代理の要職に就けるも事件誘發の責任者たる劉曹子剛なる者は正しく誠明氏の直屬部下にて候支那側にし其の由支那側にあり部下軍隊に一團長張巡閱使にして…眞に實にある自發し且つ誠意を以て[illegible]表示すべきにも拘らず却つて師長代理の要職に擢任す奇怪至極の事にて有之候

曹子剛は勿論直屬旅長誠明は作の解決を欲せば先づ第一に此の策謝を以て報道の機可有之と存じ候（奉天）

奉天特信
朝鮮貿易
七月中朝鮮より鐵道便にて奉天輸入の貨物は左の如し

品目	數量
米	三、〇〇〇
豆	[illegible]
金巾	[illegible]
卷煙草	[illegible]
紙	[illegible]
昆布	[illegible]
藥材	[illegible]
果物	[illegible]
干魚	[illegible]
陶器	[illegible]
其他	[illegible]

鮮銀成績
朝鮮銀行奉天支店七月末貸出高一千二百八十六萬餘圓にして前年同期に比し三倍以上なりと

太陽の光（二）
無代價の燈　八
最近の應用
紫外線は唯今述べた樣な不思議な作用を呈する就中バクテリアを殺す力を利用して飲料水を殺菌するのに歐米都市では利用してをる。其の理を述べて見ると水中に水銀燈を點ければよい、水銀燈は普通の電燈と違つて球內で高溫の水銀蒸氣が光を放つてをる其色は一見して藍色に富んでをる即ち紫外線にも富むでをる

植物と日光
植物を見ると地面の下にある根と上に出る幹枝葉とかある根は常に光を避けて暗い地中にもぐり込むに反し幹枝葉は明かるい光を求めて延びたがつたりする、其には何か深い理由がある、其は植物に缺く可からざる關係は植物にとつて最も大切な問題である葉は凡て綠色である、其は葉綠素と云ふ極めて複雜な化合物を含むでをるからである此葉綠素は日光の助けをかりて空氣中の炭酸が分解して炭素と酸素に分離させる其の方に取り込み同時に酸素は再び之を空氣中に出す

避暑地投票用紙

道名	地名

京城日報社

東西南北

▼▲依村水一斗二十錢▼▲何處も同じ旱魃に西鮮地方殊に平南平原郡西海面の如き飲料水絶無となり他方より一斗二十錢にて購入し居れりと▼▲前無きは騷擾の爲に同地方民は毎日雨乞をなし居れるが斯かる旱魃は先般の騷擾の徒が天道に叛し騷擾を起せし祟ならんと恐れ居る由▼▲洛東江の水族南朝漁洛東江七十里の水域に棲む水族は鯰、鯉、鮎、鰻、鰡等にて一箇年の水揚二三十萬圓にも上り罐詰業も明始されたりと▼▲釣れる咸興川の鮎▼▲咸興川に地方法院の運中休日に鮎漁を催し某氏の四十五尾を頭に岡本檢事正廿四尾岡本法院長十八尾の獲物ありし由▼▲また酒造會社一つ▼▲大邱にて土地の資産家有志が起こなり資本金五十萬圓の大邱酒造株式會社設立の事に決しその認可申請をなしたりと▼▲好過ぎて惡き遊ぶ▼▲景氣の好さに獨り大邱の遊廓は近頃寂る一方なりといふ譯を聞けば遊客が町の藝者を買ふ爲なりとは扨もく▼▲低かに騰た仲仕費▼▲木浦の仲仕賃一圓六十錢より一躍して二圓五十錢となり市外は食事を雇主持ち三圓五十錢に騰貴す因に大工は二圓五十錢▼▲十七歲の大盜賊▼▲大邱東本町京城廣屋高倉方雇人高倉才吉（一七）は主家の現金百五十餘圓を盜み出し同地妻樓にて一夜に約百圓を消費す▼▲西伯利亞の醜業婦▼▲西伯利の日本人醜業婦の身代は最近は十五圓とは驚くべく醜業婦は通じ廿五圓に非ざれば應ぜずとは更に驚くべし

◎天滿宮奉納俳句募集　今回京城俳人の開設なる京城すみれ吟社主催にて定例第三十回記念として左の條件により京城南山大神宮奉納額句を大募集する由、（題）朝寒、鳴子、稻妻、鹿、月見草、各題句數十五句廿五日發表十月十五日締切選者は五宗匠（京都）各宗匠評天地人へ美景品（入選）一人一句以上必ず（入花）一組二十錢投句一組毎に十錢　投句所京城本町三丁目誹俱樂部川久保方太平町二大海堂神谷南洋

商況

株式

東京現株　至急電報

銘柄	▲印騰貴 柳込	△印下落 七日中値
鮮銀	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

東京株式　至急電報

銘柄	七日前場大引	前日比較
東株	三〇九、九〇	七、一〇安
同新	一三〇、八〇	九、三〇安
滿鐵	一七七、三〇	二、九〇安
同新	一五六、四〇	一、五〇安
一新	一一七、一〇	三、〇〇安

大阪株式　至急電報

銘柄	七日後場大引	七日前場寄付
大株	三〇七、一〇	三〇七、〇〇
同新	二八五、〇〇	二八六、九〇
日郵	一三六、七〇	一三八、九〇
同新	一八七、〇〇	一八七、〇〇
商船	一三四、六〇	一三四、六〇
同新	三六六、〇〇	三六六、八〇
鐘紡	三四六、四〇	三四五、六〇
同新	一二五六、〇〇	一二五六、〇〇
東紡	一一七九、一〇	一一七九、一〇
東糖	[illegible]	[illegible]
堂米	五一、〇〇	五一、〇〇

京城現株　標準　段

銘柄	▲印騰貴 柳込値	△印下落 時價
仁取	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]
朝郵	[illegible]	[illegible]
電興	[illegible]	[illegible]
皮革	[illegible]	[illegible]
東畜	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]
朝紙	[illegible]	[illegible]
商銀	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
滿糖	[illegible]	[illegible]
鮮煙	[illegible]	[illegible]
鮮鐵	[illegible]	[illegible]
鮮土	[illegible]	[illegible]
仁倉	[illegible]	[illegible]

木日の商內株
ラサ島燐礦新五十八圓にて三十枚▲新鐵二十五圓五十錢にて百五十枚▲朝三十三圓五十錢より三圓五十錢にて三十枚▲蘭水港百六十四圓迄九十枚▲同第二新十七圓より一新百五十五圓五十錢にて二百枚▲同[illegible]

株式風聞錄
▲此頃商內の非常の出來ないのは實際云ふ小言をチがあるといふのは耳にするがゴチヤ〳〵いふ[illegible]

仁取漸次引戾
昨今の出來高增加と仕手の[illegible]

鮮土稍上向く
[illegible]

商銀株高張る
[illegible]

株好氣
ツルチユク株の人氣は良好にして去る五日より公募を開始したる[illegible]

米況

東京期米特電
七日前場
限月	寄付	高値	安値	止め
當限	三七、一二	三十八圓六十一錢	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	三十七圓七十一錢		

大阪期米特電
七日前場
限月	寄付	
當限	三七、一七	三十九圓十一錢
中限		三十八圓二十錢

神戶期米特電
七日前場
寄付	
三六、〇一	

下關期米特電
六日前場　當限　中限　先限
[illegible]

仁川期米
七日前場（更に新高値）

今朝天候西風を快晴阪地前寄米もあるも前日の持合を入れ愈々市場の人氣は一般に氣迷ひの光景に立會は當限川衆さるも中⑤の買[illegible]

場面活躍す
[illegible]

市場雜觀
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
內海仲買店
電話長六一五・六三二武

京城正米市場
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町一丁目
今村覺次郎
電話長三三七番・二六八番

鮮白續いて昂騰
[illegible]

支那粟更に暴騰
[illegible]

大豆頗る强し
[illegible]

南大門廻米
[illegible]

仁川正米市場
[illegible]

三品

六日後場 八月限	五五六、一〇
九月限	
十月限	四九七、九〇
十一月限	
十二月限	
一月限	

綿布氣乘薄
[illegible]

ジンス需要增加
[illegible]

釜山正米市場
[illegible]

毛斯高値落付
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
齋藤榮之助

分蜜は逡巡
[illegible]

報
取組高　當限　中限　先限

京城明治町二丁目江戶川橋（電話六二三番）
內科　小兒科
森病院
醫學士　森定
入院隨意

醇美清酒
發賣元
●到る處酒店雜貨店に販賣せり
●滿鮮支店所在地　釜山、平壤、安東縣、大連
京城明治町二丁目
大塚合名會社京城支店
電話四〇二　振替京城五七〇

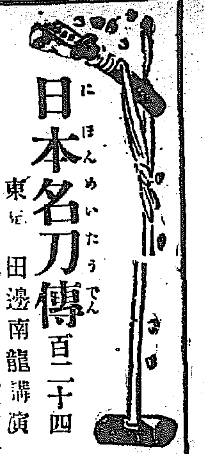
京城本町二丁目一九（江戶川前入）
診察時間　自午前八時至午後七時
利根川齒科醫院
利根川治郎

有價證券現物問屋
株式會社野村商店代理店
●當店は有價證券現物賣買に依る御良策の御要求に應じ[illegible]
○株式日報御申込次第進呈
田中文吉商店

和洋金物一式
株式會社篠々商會朝鮮特約店
京城本町三丁目
佐藤半次郎商店

▲鮮滿を風靡する
パイン萬年筆の權威
萬年筆の名は
パインに依りて愈高し▲
發賣元　京城太平通り　京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

宮內省御用達
銚子港
銚子醬油株式會社釀造
ヒゲタ醬油
代理店
京城明治町二丁目
山邑京城支店



日本名刀傳 百二十四

東京 田邊南龍講演

五郎正宗(五十四)

爺『さんと婆アさんは驚いた』婆『お爺さん、彼の坊さんは氣が狂つたよ、アレ〳〵御覧、お膳を叩いちやア變な大聲をあげる、お膳が疵だらけになつちまつた、アレ茶碗を毀しーしまふよ』爺『困るな、全く氣が狂つたんだ、さう云やアさう日付は可怪いと思つた、確に普通者ぢやアねえ、氣違ひ〳〵』槌の音は益々盛んになつてテーン、カーン、チン、チロリン、正宗は頭を動かし左の手に茶碗を取り右の手の箸で茶碗と膳をトン〳〵と代り〳〵に叩く 爺『婆アさん、困つた坊主を宿めたな、ごうしやう、氣

正『ひじやア手の付けやうが無い、婆『お父さん貧個 困つたね』正『中に掛け槌が一つテーンと這入つたスルと正宗手に持つた茶碗をバタリ膳の上へ伏せた 正『アア仕舞つた、アア殘念だ、惜しいなア、掛け槌に無理が有る、それに少し强過ぎて刀に疵が出來た』茶碗はバタリ二つに破れた 婆『オヤ、お爺さん、茶碗を破つてしまつたよ、仕樣が無いね 爺『膳の縁も取れて居る、障子を明けて爺さん婆アさん這入つて來ました 正『イヤ、是れはお爺さん、お騒走樣……是れから食やうと思んだよ 爺『坊樣、何をするんだね、お前さん、テンカン、テンカン、膳を打叩いて縁が取れし茶碗が破れてしまつたぢやアねえか 正『イヤ、氣の毒だつた、相當の代を拂ふから勘辨してお呉れ、彼の刀を鍛つ槌の音に我を忘れて引込まれた、何と云ふ刀鍛冶だね 爺『ウン、左樣ですかね、彼の人は自分で日本一の名人だと

いつも斯樣な事を言つて居るんでがす、俺の師匠と云ふ奴は世の中の分からず者を一人で背負つて居る奴で、依怙贔屓許りしやがつて、俺の方が腕が好いもんだから難癖付けて追出さうとするから、此方から師弟の緣を切つて飛出してやつたと云つて居る 正『オ、左樣かね、では明朝になつたら彼の人に傳言をしてお呉れ 爺『何ういふ傳言だね 正『外ぢやアない、昨夜一番終ひのテーンと云ふ掛槌に無理が有る、餘り强く打ぎたから、惜しいことに物打際三寸程の處に疵が出來たから名を入れなさんな、それに烈しく打合ふと物打際から折れるから持つた人が迷惑する、道ひ道にならんからと斯う傳言してお呉れ、切名を入れるな、兆しの爲めに折れると後々の人の恥辱となるからと言つてお呉れ』爺『坊さんは、刀のことに詳しいね、其の道で苦勞して來たん

言つて居つたんでね、大多喜に住んで居て刀鍛冶には氣が散つて往けないと云つて、閑靜な此の山の麓へ仕事場を造られて、弟子も二人居やすが、そりやア自慢して居るね、尤も俺も好いだらうだがね、天下に俺の上に立つ者は無いと言つてね 正『して名前は…… 爺『喜左門村正さんと云ふでがす 正『ナニ、喜左門村正…… 爺『坊さん、知つて居るかね 正『イヤ〳〵聞いたことのある名前のやうに思はれる、何處の生れの人だね 爺『何でも伊勢の生れだとか言つて居たがね、長らく鎌倉で修業したが、師匠と云ふのが大變分からず屋で、

ハだね、日本一の名人の刀に非をうつやうなら坊樣の方が日本一だ、村正さんの方が日本一だね、ハ、ハ、ハ、坊樣、槌の音を聞いただけで能く分かるね』

宿引の弊害
大田署の方針

旅館の客引き數が停車場に集まり降客に對し我れ勝ちに宿泊の勸誘を爲すは獨り大田のみならず殆ど各地の通例に屬することも其動作擧動の粗暴にして蠻は社會の安寧秩序を紊すの素因となるを以て鈴木大田警察署長は八月五日午前九時管内各旅人旅館主を警察署に召喚し客引きの行動其他服裝及入場區域に對し改革す可き數十數項を懇々訓戒する處ありたれば從來の悪弊風は掃蕩せらるべし(大田)

蠶況

夏蠶 大田……忠南大田郡に於ける夏蠶は目下收繭期に屬し其收繭量は十二三石にて秋蠶は七月二十八九の兩日に掃立を了したるも引續き旱天なりたる爲め硬葉となり甚だしきは桑樹枯死したる等より一般飼育に困難を來したるも八月三四の二日間に亘り少量宛の降雨はありたるも未だ以て充分なると言ふを得ざるを以て今後の天候に依りては養蠶家は一大困難を來すべしとは栃内技手の語る所

人蔘エキス
京城本町壹・電話 一四八〇 一八七〇番
津村兄弟商會

八月九日

(舊)七月十四日 土曜日 ▲みづのえさる ▲七赤 ▲劍西 ▲友引 ▲柳 ▲天一天上

立秋 京城時刻 后二、五九

▲七赤▼何となく落付かぬ日也
▲八白▼我意を張る事慎まば順調に運ぶべく熟考を要する日
▲九紫▼男女の關係と金錢に注意
▲一白▼變動ある日餘り乘出して深入すべからず控へ目にすべし
▲二黒▼業務のことは賑やかに大なる日なれど爭論の注意
▲三碧▼身動きならぬ樣に見ゆれど實は然らず轉じて吉運來らん
▲四綠▼心配の多き日病氣注意
▲五黄▼迷勢旺にて或はおもはぬ幸あるや知れざる芽出度い
▲六白▼迷ひの起る日なれど心を丈夫にせば凶事雲散霧消せん

いづきせ
脊髓病にて
腰痛み手足引つり腰脚しびれ兩脚夜困難せる方は當院に特効の良藥あり病者は返信封入御照會あれ
攝津 明石驛前
柴山本家

夏の衛生に 無くてならぬ
七博士の賞讃ある葡萄酒
赤玉ポートワイン
赤玉を飲めば コンナ德がある!!
■夏まけする人が飲めば いかなる暑さになつても強壯
■病後保養の人が飲めば 回復期が非常に早い
■身體の倦厭せし人も 頗る強壯元氣
■常に不快な人も 快活となる

朝夕の一杯は百藥に優る

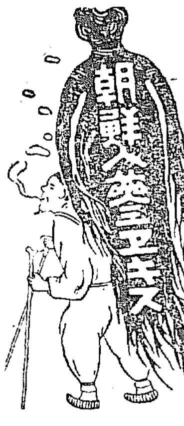
七博士の賞讃ある赤玉ポートワインは美味此上なく滋養にして豐富なれば病者虚弱者強壯者の何れの人が飲まれても偉効あり今や有名なる大醫藥局及病院に於て唯一の藥餌用として盛に採用せられつゝあり。特に夏の衛生に欠かさず召上れ

類似品あり赤玉に御注意

男女 生殖器病 りん病 無代進呈 圖入り明細書
◎誰でも治らぬ男女生殖器發育不完全不能疑弱包莖子宮病こしけ等々を頗る手輕に治す
別府温泉田の湯通 京城府大和町 名古屋化車町九九 奉天富士町十一 東京京橋材木町 大阪北區北森町一
專賣特許自宅各病自療法 新療法研究所

入院随意 京城永樂町二丁目(商品陳列館東門通)
酒井婦人病院
電話一九〇〇番 酒井一郎

故李太王殿下御嘉納品



朝鮮人蔘エキス

上製	廿瓦入	一圓廿錢
	四十瓦入	二圓廿錢
特上製	廿瓦入	一圓五十錢
	四十瓦入	二圓八十錢

京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城 三〇〇番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六貳拾萬圓
預金 參億五千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町一丁目 電話二一三一七番 振替貯金京城二六八五番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

白毛赤毛染 ナイス

誰も見惚るゝ立姿!!
色艶麗はしき黒髪は婦女の生命。
赤毛シラガも天禀の黒髪に染めるナイスの偉效。

五大特長
■タッタ二十分で染る。
■一度染て永く剝げず。
■襟枕に汚着せず。
■自然の髪の色艶に染り。
■用法簡易便利なり。

今迄しらが染には宜いのがないと相場が極つてゐたのを根本的に革新をした理想的の染毛劑はナイスです ナイスがよく染るといふ事は一度使つた方はよく御承知です。

價 大瓶 金七拾錢 中瓶 金四十錢 男子用 金參拾錢
全國各藥店に取次す
大阪・東京 丹平商會

東洋第一

호시위장약

효험 주지
외의 동젹、르시호는것、가삼이뷔여역々호는것、려장、체증(체로르림증)、고가삼이 갑갑호긴)것체、중독、소화가설되지아는석、만셩위쟝위쟝가다르、복동통에효험이마는가시오

此の文字は朝鮮の文字で日本字に譯すと左の通りです

ホシ胃腸藥

主治効能
胃痙攣、吐瀉、胸焼、頭、食傷、中毒、嘔吐、消化不良、溜飲、腹痛、胃腸カタル等を主治す

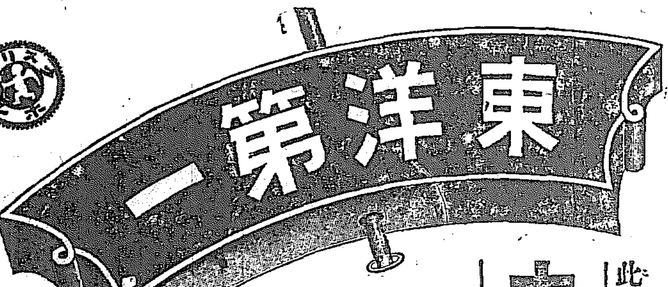
又英語では之を次の樣に書きます

HOSHI ICHOYAKU

Specially efficacious for:— Stomach Spasm, Vomiting, Caked Stomach, Heart-burns, Hysterics, Surfeit, Indigestion, Chronic Stomach, and Intestinal Catarrh, Stomach Paine.

胃腸良藥 ホシ胃腸藥 廿錢 五十錢 一圓

資本金五百萬圓
星製藥株式會社
東京京橋南傳馬町



日本郵船出帆

大連天津行 濟州丸 八月 日正午出帆
高砂丸 八月 日正午出帆
相模丸 八月 日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコアルベシ
仁川海岸通り一丁目 電話十一番

五光商會汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、清津行 第三[illegible]丸 八月 日 出帆
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三[illegible]丸 八月 日 出帆
釜山、大池回漕部 電話 元田口回漕

尼崎汽船仁川出帆

群山木浦下ノ關大阪行
△赤心丸 八月 日後四時
△一心丸 八月 日後四時
△神代丸 八月 日後四時
△秀吉丸 八月 日後四時
△君が代丸 八月 日後四時
△大有丸 八月 日後四時
○印船客御斷 △印二等船客
仁川海岸通二丁目 高杉回漕店 電話

共同汽船仁川出帆

▲大連直行 第二十一共同丸 八月 日午後出帆
▲青島直行 第十共同丸 八月 日午前出帆
▲六濠皐島行 第十三共同丸 八月 日正午出帆
朝鮮沿道主要地にて荷客並船舶行定期船接續輸送取扱
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話一七三
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 浦潮、城津、元山經由 平安丸 八月十二日 元山
▲浦汐行 城津、清津、門司、釜山 越後丸 八月廿五日 八月廿七日 元山
▲雄基行 關門發 元山名港經由 平壌丸 八月十九日 八月廿二日 元山 釜山
咸鏡丸 八月廿四日 八月廿七日
▲元山雄基線 鏡城丸 八月十二日 元山
▲大阪行 釜山、浦項、清津 越後丸 八月十四日 八月十六日 元山
▲門門行 雄基 各港經由 咸興丸 八月十五日 八月廿一日 元山 釜山
京畿丸 八月廿四日
▲金剛山遊覽便 穩城丸 八月十四日
鬱陵島行 盈德丸 八月十七日
釜山 濟州島行 昌平丸 八月十四日
▲濟州島行 西廻 東廻 慶興丸 公州丸 八月十六日 八月十日
▲釜山麗水線 麗水丸 一日置
木浦 順天丸 八月十三日
▲多島海行 慶興丸 八月十一日
▲木浦行 江田島丸 八月十五日
▲仁川 海州行 全州丸 南陽丸 毎日一回
▲鎮南浦行 天陽丸 八月十八日
▲大連青島行 江原丸 八月十八日
本社 京城南大門通 電話長二三
釜山 元山 出張所 仁川 木浦 代理店 京城 取扱店
其他各寄港地に荷客取扱店あり

京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社　印刷人 奥田直　編輯人 小川三之介

京城日報　物價問題（上）

今日の急務は唯斷の一字あるのみ

現内閣は其成立の初めに於いて、前内閣時代に起りたる物價調節問題に同じく、當然之を解決すべき使命を帶びたるものと稱せられ、首相を始めとし、内閣諸公も亦之に對する抱負あるものゝ如く見られたるが、爾來日月を閲する將に一箇年に近からんとする今日に至るまで、問題は依然として解決せられざるのみならず、諸物價は昂騰に次ぐに昂騰を以てし、殆ど底止する所を知るを得ず。昨年米騷動の勃發せる當時の米價は、一升五十錢内外に出でざりしが、現今にては供給地たる朝鮮に於いてすら、猶四十八九錢の高値に上りたる程なれば、内地相場は五十錢以上に昂騰し、其他の諸物價皆之に伴ふて進み、需用者をして殆ど絶望を感ぜしむるに至れり。而も物價の騰貴は通貨の膨脹を促し、通貨の膨脹は更に物價の騰貴を促し、互に因となり果となり、ますます財界の變調を呈し、今の趨勢にては、將來の低落を豫想することは全く不可能なるの狀態なり。かくて前古未曾有に昂騰せる物價は、直に國民の生活を脅かし、物質的精神的の兩面に於て、非常なる影響を與へ居れりと雖も、昨年の如き慘烈なる騷動の續出せられざるは、まだしもの幸なりといはざるべからず。其代りに今年は頻々として同盟罷業の行はるゝあり、殊に下層の勞働階級のみならず、所謂月給取の仲間にまで、此の思潮の浸潤せんとするの狀あることは、最も注意すべきことなりとす。

吾人は物價問題、特に食糧問題に關する當局の苦心の一方ならざるを知る。即ち關稅の撤廢せる如き、無賃鐵道輸送を斷行せる如き、定期取引に外米代用を許さしめたる如き、外米輸入に全力を傾注しあるが如き、いづれも機宜に適するの措置たるを失はずと雖も、是に由て贏ち得たる所のものは、食糧の斷じて缺乏を訴ふるの心配なしといふだけにして、其價格の調節には殆ど沒交渉なり。即ち政府の食糧政策は量に對する問題は見事に解決し得たりと雖も、値に至りては何等の展開を與ふる能はず、國民大多數の生活難の叫びは、日々吾人の耳を劈かんと欲す。若夫物價の騰貴に從ひ、勞働賃銀、月給取の收入、其他凡百の報酬給與等、皆之に比例して増加するを得ば、物價に對する貨幣の交換率が低下せるまでのことにして、何等社會問題の起るなしと雖も、そは實際に於て希有なることにして、物價の騰貴率と勞銀の騰貴率とは、常に權衡を失するを例とし爲めに、例へば政府に於ては物價騰貴に對する官吏の窮迫を緩和せんがために、前に二割の加給をなし、後に五割の手當を支給したりと雖も、物價の騰貴は、概して二倍乃至三倍の巨率を示したるが故に、到底之と權衡を得べくもあらず。さらばとて物價の騰貴率に隨ひ、官吏の給與を増加せんか、國庫は之がために破産せざるを得ざるべし。何となれば國庫の收入にして物價騰貴のために増加するものは、所得稅の如き、各種專賣品の如き一小部分のものゝみに過ぎずして、其の大部分は今日猶戰前と大なる出入なきを以てなり。增加の比率少き收入を以て、底止する所なき増給に應ぜんとするは、如何なる財政家と雖も能く行ひ得べき所ならんや。されば政府が現在實行しある所の救濟策も、善くいへば一時應急の方便、惡くいへば姑息の措置にして、根本的に官吏の生活不安を除却する所以にあらず。況して一般社會の生活難救濟の方法としては、今日に至るまで何等の施設を見得ざるは、吾人の特に失望を禁じ得ざる所なりとす。

赭土の路　往十里にて　石田富造筆

産米増殖問題と朝鮮

黄海社々長工學士　松山常次郎

一、緒論

米が高くなつた。日本の生産高は需要を滿すに足らぬ。不足は外米を輸入せねばならぬ。常に使用を節約せねばならぬ。人口は今後十年間に八百五十萬人も殖えるといふ。一朝戰爭にでもなつて、外米を自由に輸入する事が出來なくなつた節には如何するか。米高の結果世人の注意が米問題に集注せられて來た。背に腹は代へられぬ。食は人生最も緊要の問題である。米問題は國民生存上最大問題であるに拘らず、今日迄比較的に閑却せられて來た。此問題を根本的に研究し邦家永遠の安泰を期せねばならぬ。

今年の會議に於て開墾助成法が通過し帝國耕地整理會社法案も衆議院だけは通過した。政府が産米増殖問題に努力しつゝある意思は明かに讀まれる。而して朝鮮の事情を知るものより見れば政府は何故に朝鮮の開發に一層の努力を費さなかつたであらうかと云ふ疑問が起るのである。之に行ければ産米増殖に對して一層有効なる結果を見る事が出來るであらうとの疑問が直ちに起るのである。之については當局者の不行屆もあつたであらう。政策上の行き懸りより不本意ながらも實施し得なかつた點もあると云ふ事である。此問題の解決は唯時の問題である。日本に於る産米増殖問題を最も有効に解決する方法は朝鮮に於る農事改良に力を注ぐ事であると私は信ずる。朝鮮に於て盛んに開墾事業、灌漑事業を起す事は啻に産米増殖問題の解決に貢獻する所大なるのみならず日本の大陸政策の實行上重要なる事柄であると私は信ずるものである。

私は過去五年間朝鮮に於て開墾の事業、灌漑事業に從事したものである。經驗を有するが故に其の知る所を我敬愛する母國諸君に通報するを我光榮ある義務なりと信じ以下聊か記述する所あらんとするものである。

二、朝鮮は米作上多くの天惠を有す

朝鮮には百五十萬町歩の水田があつて其内灌漑設備の出來て居るものは三十四萬町歩に過ない。殘り百十六萬町歩と灌漑設備を有して居ない天水のみを當にして稻作を行はんと期待して居るのである。之れは内地人の頭で考ふれば危險極まる期待である。況んや朝鮮の如き降雨量少き地に於ておやだ。然るに實際は不完全ながらも如何か斯ふか米が取つて行けるから不思議だ。朝鮮人は植附水さへあれば米は取れるものと信じて居る。朝鮮は成る程雨量が少い。其の年降水量は釜山千四百五十六粍、仁川九百五十一粍、平壤八百九十一粍、龍岩浦八百八十五粍である之を内地の下關千六百二十七粍長崎千九百六十七粍鹿兒島二千二百十七粍大阪千三百七十五粍なるに比較する時は遙に少量である然るに朝鮮の雨期は七八月頃である、例へば京城に於ける降水量は

五月	七七粍三
六月	一三〇粍六
七月	三一八粍二
八月	三九八粍四
九月	一一七粍四
十月	三七粍九

であつて六月始めより九月末迄四箇月合計七百六十四粍六にして其年降水量一千一百二十九粍四に對し約七割に當る、即ち朝鮮に於ては其年雨量小量なれども稻作期間に於て割合に降雨多きが故に植付水さへあれば米の收穫を見得るものとせられるのである内地に於ては梅雨期と云ふのがあつて稻の植付水には困らぬが其生育後旱魃に逢ふ事が多いこれに反して朝鮮では植付水に困るが其生育後は比較的良好なる情態に於て稻が成育するのである斯の如き理由の下に乾稻（陸稻に非ず）と稱する耕作法か朝鮮に於て行はれて居るのである朝鮮の水田全面積の八割近くも未だ灌漑設備を施されずして不完全ながらも米作を行ひつゝあるは朝鮮の地が斯の如き特殊なる天惠の下に存在するからである朝鮮氣候は概して寒い今各地に於ける平均温度を擧ぐれば次の如くである

大阪	（華氏）五八度八
釜山	五六度三
木浦	五五度四
京城	五一度二
平壤	四八度二
龍岩浦	四六度四

鍊膽錄

蘇東坡　三笑生

◇文章軌範で、赤壁の賦を讀んだものは蘇東坡が有名な宋の學者で、文章家であつたことは知つて居るが、彼が佛印禪師に參禪して、法源に達して居つたと云ふことを、知つて居る人は少からう。

◇一日東坡は、佛印禪師と共に遊行して居つたが、不圖、觀世音菩薩が、手に珠數を持つて居る像を見て、急に不審を起し佛印禪師に向つて『觀音は佛の境界であり乍ら、手に珠數を持つて居られる、一體何を念じ、何を思ふ爲であらうか』と問ふた。禪師が『觀音は觀音を念ずるのさ』と答へた。其の答が一寸奇拔に聞ゆるので、東坡はいよ／＼わからなくなつて『既に自ら觀音であるのに、何故自ら觀音を念じ、觀音を唱名するのか』と問はずには居られなくなつた。其時、禪師は『人に求むるは、己に求むるに如かず』と訓示した。斯くて東坡は佛印禪師に師事して、專ら苦修を積み、遂に得悟するに至つたのであつた。

◇東坡悟道の詩として、有名なのは『溪聲即是廣長舌、山色豈非清淨身。夜來八萬四千偈。他日如何擧示人』『廬山烟雨浙江潮。未到千般恨不消。到得還來無別事。廬山烟雨浙江潮』と云ふのがある。此れ彼れが己に求めて、徹底己に得た消息を語るものである。

◇何人も只だ己に求めよ。己の寶藏の開くる所に受用如意盡きざるものがある。只だ己に求めよ。大慧禪師の語に『門より入るものは珍寶にあらず』と云ふのがあるが、併せて味はふべき至言ではなからうか。

此の鍊膽錄は最初出版する積りでは無かつたのですが、此頃四方から小冊子として出版しては如何かと勸めらるゝ方が多いので餘り値打の無いものではありますが小冊子として出版することに致しました之れを京日紙上に連載しましたのは今日の青年諸君の修養の一端に供したいばかりでありまして既に私の目的は達したやうなものでありますが更に之を小冊子として御頒ちすることもなれば此上もなき仕合せであります、成るべく出版を急ぎたいと考へて居ります。就ては誠に御面倒ですが御手數ながら御希望の有無を下名に迄御知らせ下さる譯には參りますまいか。内容は既に御承知のことでありますから申上げませんが代價は約一圓二十錢位までに定めたいと考へて居ります（京城日報編輯局に於て中村健太郎謹告）

ポケット　旅の友　夏期増刊

錦夏の伴侶
口繪・おきぬ…伊東深水
探偵小説 指環…香川青雨
江戸名物 紫の唄…中内蝶二
滑稽小説 富籤花嫁…海賀變哲
講談士外傳 橋本平左衛門…須藤南翠
不思議な 奉賀帳…泉斜汀
女俠客談 竹割お國…半井桃水
機智縦横 奇人非奇人…熊田葦城
歴史小説 落人…從川國風
出世物語 雷電爲右衛門…五十嵐松園
義の勝利 城崎心中…長田幹彦
豪傑競べ 山中の誓…岡天谷
武士氣質 旋風…遲塚麗水
京都名物 大丸の怪異…下開人
江戸情話 七本櫻…田村西男
下町情話 戀の血衣…細谷宇花
探偵小説 二つの鍵…久松古溪
武士の勢 愛一萬石…江戸川部
定價金三十錢 送料二錢　東京 博文館

文學博士 喜田貞吉主筆
民族と歴史
八月號特殊部落研究號
一日發行 一冊郵稅共四十八錢 半年金二圓八十錢 壹年金五圓四十七錢
東京小石川表町 日本學術普及會（振替口座東京二八一八六番）

試験問題集
法制研究會編 文官普通 判任見習 巡査看守
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試希望者をして試驗の概況及程度を知らしめ必勝の幸福を與へんとして編纂せるもの應試者諸氏の此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所尠少にあらざるべしと信ず
菊半形紙數二百二十頁◆定價金五十錢◆發料四錢
發行所 京城本町 ウツボヤ
賣捌元 京城太平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

新荷着
夏の御暑さ凌ぎには蓄音器と樂器に限ります
目録贈呈
株式會社日本蓄音器商會日本樂器製造株式會社
朝鮮總代理店
京城本町二丁目廿九番地
釘本樂器部
電話一二八三番 振替京城六八四番

英文史劇 楠公父子
マスターオブアーツ 水戸部茂野著
口繪木版色刷美本 定價壹圓五十錢 郵稅八錢
著者は曩に獨歩集を英譯して其名を日米文學界に喧傳す本著は我國建國の根本精神を體し全篇詳密なる註釋を施し青年男女學生の好個の參考書たるを信ず
東京京橋區 大阪南區 株式會社大鐙閣 發行

御茶銘價改正
京城明治町 宇治屋茶舖 電話四百十二番 振替京城五七六〇番

御濃茶	十匁價
初昔	壹圓
後昔	七拾錢
祝白	五拾錢
上儀	四拾錢
別儀	參拾錢
玉露 一斤價	
大門	五圓
大内	八圓
上撰門	七圓
金の門	六圓
銀の龍	五圓
御葉	四圓
大鳳	參圓五拾錢
雲の梅	參圓
特製	貳圓五拾錢

御煎茶	一斤價
相生	貳圓五拾錢
池の尾	壹圓六拾錢
宇治の花	壹圓四拾錢
朝日	壹圓貳拾錢
正喜撰	壹圓
玉露折物	
玉の沈	六圓
上折	參圓
玉葉	貳圓五拾錢
雁金	壹圓六拾錢
番茶の部	
上柳	壹圓
宇治柳	九拾錢
上青柳	八拾錢
青柳	七拾錢

御注文の栞
◇弊店發賣の銘茶は確實にして山城宇治有力なる各製造家の品を集め品質の良否價格の高低を研究し顧客に滿足を與へ薄利多賣主義を以て販賣仕候希くば愛顧を乘れ賜り度
◇事務用御進物用年始中元御贈答用等には鑵詰にて體裁優美に調製可仕候何れも御取用にて或は手土産等には至極重寶なる適品に候
◇御注文の節は土地の便不如何により小包便或は汽車便其他方法にて迅速御發送仕り可申候成可く御便宜に御注意し取計ひ申上候
◇尚代金は前金又は代金引替小包郵便にて御送附可被下候

▲セメント著荷
京城古市町 苫米地商店 電話九四一番三一〇八番(3) 振替京城五三一番

熱狂的大歡迎…注文殺到
佛國ウエルサイユ講和會議に列強の俊傑が和議せる世界大改造に際し名譽の使命を果しゝる世界的最一謄寫版
講和會議特命御用品 專賣特許實用新案
鐵筆、毛筆、タイプライタ兼用 最一謄寫版
各色探色自在
◎謄寫版總ての要求は本器によりて遺憾なく解決さる舊式謄寫版の使用は既に陳腐に屬す直に世界的最一謄寫版を以て繁雜なる文書を處理されん事を勸む
▲實地説明に社員參上御高覽を乞ふ
一手販賣 京城 合資會社京城日報社代理部
京城日報社代理部内 東京最一堂擴張事務所 臨時出張

應用經濟 月刊雜誌 利殖之友
八月號目次
應用經濟の權威◆利殖者の大指針◆
利殖訓…米國イ・ゼ・スタ弁二一
金儲機會主義者萬歳…小西
平民貯金と貴族利殖…ピ・エ・
金のため方…臨江枯介
八月の株式界…飛將軍
株界の大活躍…神田鐳藏
株界益多事…織田昇次郎
あかるか世界物價の將來…山内香渓
株界の前途…福澤桃介
紡績前途多望…東洋紡績 阿部房次郎
銅界前途好況…古河鑛業 瀬下清郎
世界的の難…大日本製糖 松石力三郎
誰にも出來る年十五割確實利殖法
拾年拾萬圓…貯蓄秘訣
株成金秘訣…ウォール街物語
かうすれば金持になれる…熊谷初之助
利殖眞諦…東京アニリン染料所長 中小路晉三郎
全國諸會社解剖
銀行會社彙報
諸株利廻早見表
定價一部廿錢郵稅一錢◆半年分稅共一圓十錢◆一年分稅共二圓
東京京橋（電話局前）利殖之友社 振替東京四二五四〇

▲瓦値上廣告
今般諸物價騰貴の爲め左の通り値上仕り候
並瓦壹枚　六錢五厘
大正八年八月七日
京畿製瓦組合

特別委員會組織

最高會議は講和條約履行に關する總ての行動步調を一にする爲特別國際委員會を設立するに略決定せり其の本部は巴里に置き必要に應じ其他の國の首府に轉ずるを得べし（巴里電報）

英米統治地如何

巴里にては米國は何れの委任統治國ともならざるべしとの印象顯著となりつゝあり而して英國は結局君府及び土耳其の委任を托せらるべしと報ぜらる（巴里電報）

勃國領土主張 覺書

勃牙利講和委員はマセドニヤ、ドブルジャ及びセンースが勃牙利の領土なることを主張せる第一回覺書を講和會議に提出せり（巴里電報）

獨逸航空船處分

英國海軍次官シーリー少將は述べて曰く獨逸の所有する總ての航空船は是を聯合國に引渡すを要すと（倫敦電報）

戰爭繼續責任 調査

一千九百十七年獨逸が羅馬法王の講和勸告を拒絕したる事は獨逸議會に於て發露せられたる爲め英國高等法院は新に戰爭繼續の責任に就き調査を開始したり（倫敦電報）

獨艦自沈審問案

英國下院に於てスカパフローに於ける獨艦自沈に關し法廷に於て事實の審問を爲すべしとの律議案提出せられたり（倫敦電報）

英サ島割讓否認

英國外務省は英國はサイプラス島を希臘に割讓せりとの風說を否認したり（倫敦電報）

英徵兵制廢止か

英國陸相チャーチル氏は下院に於て述べて曰く今や英國は二百萬以上の將校兵卒を除隊すべく現に日々六千人以上の除隊を繼續し居れるが徵兵制度は豫期せざる不虞の事件突發せざる限り現行軍人服務令と共に廢止せらるべしと（倫敦電報）

英鑛山國有中止

英國政府は鑛山國有を中止せり（倫敦電報）

白國兩陛下渡米

白耳義皇帝皇后兩陛下には九月末か或は十月初め華盛頓に到着せらるべしと（華盛頓電報）

物價公定案議定

生活難緩和の對策を講ずる爲設立されたる佛國經濟會議は第一回會議を開き物資公定價格案を議定し議會に提出することに決せり（巴里電報）

北露政府解散

北露政府は解散しミハレル中將は總督となり北露一帶に總督政治を行ふに至れり（東京特電）

慘憺たる人種戰

米國の黑人騷擾戰鬪と化す

市俄古の黑人騷動は今や眞正の戰爭と化し黑人及び白人各十萬人是れに參加し小刀、剃刀、拳銃等を携へ街頭に大激戰を演じつゝあり死傷者の上を乘り越え爭鬪者を追ひ散らしつゝある騎馬巡査の爲めに秩序稍回復せし如きも場末にては亂射斬り合ひ放火等依然行はれ死傷夥しく病院は負傷者にて滿員なり爲めに軍隊四千出動したり（市俄古電報）

▲別報 華盛頓に於ける黑白人爭鬪今猶熄まず市俄古市も亦戰爭狀態となり遂に戒嚴令を布けり（華盛頓電報）

外相聲明と支那

內田外相の聲明に對し支那當局は日本の誠意を認め居れるも未だ是を以て直ちに問題解決せりとは思ひ居らざるものゝ如し（北京電報）

和議再開と南方

和議再開進行に對する南北雙方の折衝は最近專ら國會問題に集注し來れり而して南方派有力者は新國會に對する南方の主張が貫徹せらるれば他の問題は北方の要求する程度までに讓步するも敢て苦しからず新國會問題の解決を見ずして和議再開は不可能事たりと唱へつゝあり（北京電報）

川邊守備軍增派

近く南方と交涉を開始すべし

西藏對川邊軍事問題に對し湊防督辦段祺瑞氏は督辦處に邊防會議を召集し徐樹錚、靳雲鵬氏等と協議の結果從來の川邊駐屯軍に更に京畿守備軍より一混成旅を編成して增派するに決したるが該事宜に對しては南方の同意を必要とするを以て近く何等かの形式に依り南方と交涉すべしと（北京電報）

孟吉林滯在承諾

鮑孟兩氏間の印綬授受は既に圓滿解決したるが鮑氏は目下集中せる吉林軍が無事從前の駐屯地に復歸する迄孟氏に對し吉林滯在を求め孟氏亦是れを承諾せしとのことなるが其の實は孟氏が或る自己の都合上暫時吉林滯在の要ある爲めなりと（長春特電）

反對理由 鐵道廳創設案

鐵道廳創設案は過般樞密院に廻附せられたるも朝鮮總督府官制其の他の諸案調査の爲め未だ委員會にすら附議せられざる有樣にて同委員會の審査を經て本會議に於いて決定を見るは九月以後となるべきが鐵道廳案の內容は謂はゞ單に外形の變化に過ぎざるを以て昨今樞府の有力者にも是れに對する反對の聲加はりつゝありとも傳へらる而して反對の第一理由は鐵道院を內閣直屬より引き離して獨立の交通省たらしむると同時に內務に於ける土木及び港灣關係を併合統一し以て改正の稱號に副ふの實質を具備せしむるに至らば根本的にして改革の價値を認め得べきも今次の鐵道廳案としての內容を以てしては格別改革の必要を認めずと云ふにあり而も是れに對する政府側の態度を見るに飽く迄も成立を期せんと試むべくも是れ等多數の意見にして反對とならば萬一樞府政府の提案は結局龍頭蛇尾に終るやも知るべからずと（東京電報）

朝鮮軍人手當支給規則改正

六日陸達四十一號を以て朝鮮人臨時手當支給規則中を改正し本年四月より之を適用する旨公示さる（東京特電）

關東廳官制再改正案提出

朝鮮總督府官制改正は八日開會の樞密院本會議に於て附議決定せらるゝ筈なるが是に伴ない先に改正せられたる關東廳官制にも或重要なる改正を行はざる可らざる必要起りたるを以て政府は引續き關東廳官制再改正案を樞密院に提出すべしと（東京電報）

東鐵列車運轉未だ復舊せず

長春哈爾賓間の列車運轉未だ復舊に至らず鮑督軍來長に際し臨時運轉せし列車も哈爾賓に歸り少數の旅客を便乘せしめしのみにて發車時刻の如きも一定せず一般の打擊甚大なり尙ほ七日朝哈爾賓を發車午後三時長春着の列車ある由にて哈爾賓に滯在中なりし一高の學生約三十名は右列車に便乘來長の筈（長春特電）

箕作博士危篤

箕作元八博士は去る六日腦溢血を起し同夜より危篤絕望の容態となれり（東京特電）

排日下火

日支商人の取引開始さる

山東省に於ける排日運動は段祺瑞氏の旨を受け居れりとも推せらる、馬良將軍の不良徒輩威壓を主因とし一般商人中漸く排日に倦めるものを生じ又加ふるに排日運動は稍もすれば無政府の恐怖を惹起するの恐れを伴なふにつき一般人民中將軍の行動に賛意を表する者少からず旁排日運動は近く消滅するに至るべく日支商人の取引も漸く開始さるゝに至れり然も取引は生產品の賣却に在つて未だ日貨の購入には及ばず且地方の排日氣勢は尙ほ熾にして博山淄川地方にては日本品の流通さへ見ざる困難なれば從つてその直接取引は全く不能の狀態にあり目下出廻りつゝある生產品は小麥と豆油のみなるが後者の取引は僅少に過ぎず小麥は邦商の何れも競つて買契約を結べるものゝ如く幾分は邦人に從事し馬良將軍出現以來既に三四千噸の取引ありたり尤もその內には以前より內密に買ひ居るもの、如し尙ほ近來まで殘存せし小麥輸出に對する護照三萬噸分は最近に至り忽ち全部下附されしも直ちに輸出を開始し得るか否かは疑問ならん（濟南特信）

鮮滿片々

銀行時間變更

從來安東の朝鮮銀行支店滿洲商業銀行及安東銀行の營業時間は午前九時より午後四時迄であつたが去四日から九月十五日迄大連にならい執務時間を午前九時から午後三時迄に變更した（安東）

會寧附近の旱害

會寧附近は約一月餘に亙つて降雨らしい降雨なく日中屋外百二十度位の炎熱を見たこともあり一般農民は此の炎天に畑作物の成育に就いて非常に懸念して居り又事實旱害は少くない（會寧）

開港記念事業

元山開港四十年記念事業の選定は同地繁榮會で發案され其後委員附託となつて居たが過般の委員會で公會堂兼商品陳列館を建設することゝなつた（元山）

東拓水利完成

全南羅州郡宮三面の內細枝面の水利工事は豫て東洋拓殖會社で工事中であつたが去月三十一日全部竣工した榮山江の支流たる倉川の水流を二十一町步の畓地に引込み逐次灌漑するので殆ど旱魃の憂ひなく朝鮮に於て水流を引込み貯水の水利工事は之が嚆矢である（光州）

水稻出穗初め

全羅南道各郡の稻は殆ど悉く開花し穗も頗る良好で早稻の中には早くも孕穗したものあり例年に比して一般生育は二十日以上早い（光州）

棉花收穫豫想

全羅南道の陸地棉作附反別は四萬六千町であるが花付狀態良好で優に五千五百萬斤以上の收穫ある見込み（光州）

守備兵舍新築

平安北道園川では約一個中隊を收容する守備隊兵舍の新築決定し既に敷地三千五百餘坪の地均工事中である建物は總て半永久のもので十一月迄に竣成の筈である（定州）

開原銀行設立

開原の實業家中には地方金融機關として銀行の設立を計畫するものと又同性質の金融機關を企圖するものとあるので當局は最も公平に兩者の設立を研究した結果兩者の發起人を合同し更に支那人をも加へて資本金百萬圓の日支合辦開原銀行の創立を見んとし資本金は四分の一拂込み株式は全部發起人引受けの筈である（開原）

平壤商議員增加

平壤商業會議所評議員は從來內地人十六人鮮人八人合計二十四人であつたが會員有資格者の增加に伴ひ次回改選期より評議員の數を三十名に增加する定款の改正は愈認可されたが今日午後役員會で議員の割合を內地人二十名鮮人十名と定め認可申請書を提出する事に決議した（平壤）

奧地行鮮魚減少

大連から奧地行の鮮魚は氷摘底の爲め殆んど託送がない且つ各地に於ける虎疫の發生は鮮魚の需用を減少させた然し大連旅順での需要は增加したから漁業者や魚問屋に及ぼす影響は左程でないらしい（大連）

鮮鐵荷動狀況（一）

七年度に於ける

本年度に於ける貨物運輸成績を見るに貨物運輸平均營業哩は一千百〇一哩二分、輸送延噸哩は四億六千百廿八萬二千百八十八噸哩にして前年度に比し營業哩（前年度一千七十七哩）に於て二十四哩二分、延噸哩（前年度三億九千八百三十八萬一千二百四十九噸哩）に於て六千二百九十萬九百三十九噸哩を增加し延噸哩の增加率實に一割五分八厘に當れり又貨物輸送數量及貨車收入の比較を示せば左の如し

年度別	輸送數量	貨車收入
大正七年度	二、六〇八、四六六	八、一八〇、三六六
同六年度	二、四四四、一七三	六、〇一〇、三三〇
比較增減	一六四、二九三	二、一七〇、〇三六
同增減率	、〇六七	、三六一

右表の如く

輸送數量十三萬四千二百九十三噸（五分四厘三毛）收入二百十七萬一千〇三十六圓（三割六分三厘）を增加し此內社用品及工事請負人材料を除外するときは輸送數量二百三十五萬四千七百四十四噸貨車收入…にして前年度に比し數量（前年度二百三萬一千八百五十二噸）三十三萬二千六百…（前年度五百八十萬三千九百五十三圓）二百二十萬八千〇三十二圓（二割七分九厘）を增加せり又本年度收入一噸平均貨金は二圓二十八錢にして前年度（二圓四十一錢九厘）に比し二割二分七厘を增加し更に一噸一哩平均貨金は一錢六厘八毛に當り前年度（一錢五厘一毛）に比し一毛七毛（一割一分三厘）の增加を示せり

大戰の永續

により本邦經濟界は一層好況となり海運界又未曾有の殷賑狀態を呈し船腹は不足し勝に本年度初頭に於ける六萬噸の內地行滯貨は夏季に於て稍減少したるも下半期に入りて西比利亞出兵に對する特別大輸送あり九月中の如き殆んど交通列車の運轉は一日一回乃至二回に過ぎず尙は十二月に入りては之か歸還部隊の輸送せらるゝあれて此の間一般普通貨物の輸送は大打擊を受け而して出盛季の關係上穀類に於て特に影響甚しく又々滯貨は多量を算するに至れり

當局は前年

度來之等滯貨救濟策として各地に營業倉庫を新設增設又は野積保管取扱を開始し之が倉庫を建設して內地行貨物の收容力を增大し以て貨主の金融に資し又は全線に亘りて臨時貨物列車を增發し或は濟州汽船との釜山阪神間聯絡輸送を開始し本期に入りて更に尼の崎を追加し尙は後期一月に入り大戰の終熄と共に船腹稍餘裕を生ずるに至りたるを以て各港灣の近海運送業者と特定し又鐵道院と聯絡し臨時貨物列車を運轉する等種々の方法を講じ幾多の犧牲を拂ひ滯貨の調節に努め又以て軍事特別輸送の影響を以て幾分補足するを得たり而して

對內地連帶

鮮對內地發著は山陽線輸送力不足或は前記軍事輸送の爲め打擊を受け頗る不況に終れり即ち移出にありては米、麥、大豆、雜穀、金物類、肥料、黑鉛等にして米、雜穀、肥料、金物にありては前年度に比し多少增加したるも大豆、麥に於ては著しく減少し移入にありては砂糖、果物、酒類、綿布、紙類、陶磁器、綿臥等其の重なるものにして幾分增加したるものなきにあらざるも大體に於て減退を示せり今之か輸送數量を前年度と比較せば左の如し

鮮內發著貨物

年度別	局線發 院線著	院線發 局線著
大正七年度	一〇三、九〇七	四四、三九九
同六年度	一一八、九四四	七七、六三五
比較增減	減一五、〇三七	減三三、二三六
同增減率	減、一二六	減、四二八

にありては如上上半期末より數ヶ月に亙り軍事特別大輸送あり爲に一般貨物の輸送は大制限を余儀なくせられ荷捌に大打擊を受けたりと雖も前後に於ける出荷は頗る多忙に輸送又順調にして前年に比し多大の增加を示せり這は鑛產興業の振興交通運輸機關の改善或は穀價の暴騰に農民の購買力增進等に因る自然的增加及前述海運界の殷賑に伴ふ船腹不足の結果船便貨物の鐵道轉移動からざる其の主因たるべし

低減運賃計算

今回京管局に對し鐵道院より院線行き米麥其他は發送預かりのものと雖も今回の低減期間內に發送するものと雖も受託し低減期間內に發送するものに限り無賃又は低減運賃にて取扱ふ旨通知ありたるが現在の受託數量に依り計算するに本月十日迄に受託のものは低減期間內に發送し得る見込みに付同日迄に受託のものは無賃又は低減運賃にて取扱ひ十一日以後の受託のものは院線內運賃計算方に付ての連輸課配車の指示を受け取扱ふべき旨局內に公示し尙院線行き米麥の重なる貨主に對し右の趣きを通達したり

煙草作不良

今村專賣課長視察

大田、大邱、忠州各專賣課出張所管內即ち朝鮮葉煙草の主產地に於ける本年の作況は播種當時に於ける生育佳良なりしに拘はらず其後降雨量多く爲めに病蟲害を受けたる地方ありしと昨今に至りては日々旱天打續きて發育を阻害せられ甚だしきは旱害を被り枯死せる地方ありて作況不良豫想外の損害少からざる模樣なりとの報に接し今村專賣課長は右視察の爲往復四五日間の豫定にて八日朝出發大田、大邱、忠州の順序にて三出張所管內に急行出張することゝなれり

獨財產監理

獨逸人の財產監理令施行され總督府にては牛田商工課長より此程各道長官に對し其取調及び監理方に關し通牒を發したるが右の財產所有者は京城仁川を最とし其他は咸南北の二道のみなるが京城仁川は土地建物なるも他は金鑛及び其附屬物等なりと

關稅撤廢成案

關稅調査會終了

曩に帝國政府が聲明せる如く日韓併合後十年間据置ける朝鮮關稅は愈々大正九年九月を以て撤廢せらるゝ事となり朝鮮總督府にては舊來關稅調査委員會を組織し更に關稅調査課を置き銳意撤廢に關する調査研究を續行し

朝日釀造消息

釘本藤次郎氏を發起人總代として出願中なる資本金百五十萬圓の朝日醸造株式會社は近く許可さるべき模樣なりと

露將校等射殺さる

東淸鐵道同盟罷業者の暴行

五日浦鹽を發したる列車がオウドボウズに達したる際同盟罷業の東淸鐵道從事員等は器關手を脅迫して列車の運轉を止めんとせしより乘車せる二名の露國將校及び旅客をして運轉せしめんとせしも肯かず爭論の結果將校二名及び旅客一名に遂に射殺され罷業者側にても少からざる死傷者を出だせりとの報あり（長春特電）

期米新高値

仁川期米の七日後場は四十三圓四十二錢と寄付きたるも連日の照り込みに旱魃懸念益々昂じ買氣旺盛となり遂に四十三圓七十五錢と新高値を現はしたるが折柄思ひの賣物に三十八錢と下押しせしも買氣依然衰へず五十五錢と打止めたり

京城の金融

七月末日に於ける京城組合銀行の帳況を聞くに預金は六千二百十八萬九千九百圓にして之れを上半期末に比し約三十萬圓の增加を來し又貸出は七千五百二十萬五千圓にして七萬圓の減少となり居れり金銀在高は二千八百二十萬圓にして九百萬圓の增加なるが該增加は主として朝鮮銀行の手許に於て直接京城財界に關係を有するものにあらざる如し

廿師勤務演習

第二十師團管區勤務演習に第一次の召集を受けたる豫備大、中、少尉級同相當官及び准士官は七日午前八時を以て各自其所屬部隊に入隊を了したるが其人員は三十九名にして大尉五名中尉二名少尉二十五名准士官七名なりき

新設會社二件

熊本縣玉名郡橫島村三津家傳三氏より申請中の土地經營山林植栽、殖產資金の融通及び附帶事業として船舶並に水產業を目的とする珍島殖產株式會社（資本金二十萬圓）を全羅南道珍島郡に設立の件は六日許可さる▲又新義州本町增田光三外六名より申請中の倉庫業並に之に關する金融業火災保險代理業通關業前各項に附帶する業務を目的とする新義州倉庫株式會社（資本金三十萬圓）を新義州に設立の件は八月八日附を以て許可さる

新安自動車出願

新義州安東間乘合自動車營業の件は新義州多田榮吉氏より同所警察署に認可申請中なるが右は八日來鐵道橋を通過すべきに依り過日來鐵道當局に於て協議中の處鐵道側に於ては速力其他に制限を附さば大體に於て異議なき由なるも其許可は鴨綠江步道取締規則に依り許可を受くべき事項にして目下詮議中なりと

人事消息

▲溢川茂太氏（蓬萊生命朝鮮支部長）今回九州支部長に榮轉八日午前十時出發任地福岡へ
▲黑川義太郎氏（東京上野動物園技師）七日退城
▲鹽澤博士 七日退城

鳥瞰錄

樞府顧問官伊東巳代治氏は樞府の特別委員長に擧げられると必ず出食を委員一同に振舞ふ例になつてる▲今度の委員は互選された翌日早速樞府事務局で各委員に東洋軒の上食を馳走に及んだ▲然るに此事を聽いた帝室制度審議會の面々伊東子爵は樞府顧問であると同時に帝室制度審議會總裁である▲樞府で上食を馳走する子爵が審議會は並食も振舞はぬとあつては決して公平な態度ではない樞府委員に三回御馳走するものなら審議會に列なる我々にもセメテ一回の饗應があつて然るべきだと主張する▲其れにしても審議會は名々本職を濟ましてから始めるので何時も委員の顏が揃ふのは夜の七時過ぎとなつてる其まで腹を減らして晩飯の御馳走を迫る譯にも行かぬしされば朝の六時に始めて從の雪の振舞に預かるのも難有からぬ問題とて諸君寄々評議最中であると▲朝鮮の貿易金融新施設は其効果に就て頻りに銀行家間の話題となつて居る▲正金が從來の態度を一新して極力輸出爲替資金を市中に調達するとなれば勢ひ幾らか高い金利を拂はねばならぬ金利の高いのは銀行家の最も歡迎する處だらう▲が一面に於て定期預金を脅かすことになるので痛し痒し餘り氣が進まぬとはサモあることだ

碧瑠璃園新著

山中鹿之助

碧瑠璃園傑作叢書第十篇出づ

尼子の三勇士の一人豪壯天下に比なき鐵血士の主家再興に魂魄を凝らして鬼をも哭かしむる大精神

價壹圓五拾錢 送料內地十二錢

各篇重刷未曾有の大歡迎

碧瑠璃園縮刷傑作叢書

第一篇 二宮尊德
第二篇 渡邊華山
第三篇 吉田松陰
第四篇 大石內藏助
第五篇 乃木大將
第六篇 錢屋五兵衛
第七篇 荒木又右衛門
第八篇 乳人政岡
第九篇 由比正雪（近刊）

各定價壹圓五拾錢 郵稅內地十二錢

東京市日本橋區橘町十五 株式會社 大鐙閣 發賣 大阪南區三休橋南詰 振替東京三三六一八番 大阪一七一五五番

○住宅間取圖案懸賞募集廣告

規定

一、募集スヘキ圖案ハ朝鮮ニ於ケル日本人向キ住宅ニシテ左ノ五種類トス
甲號 煉瓦造二階建 延建坪 五拾坪內外
乙號 同上 同 參拾五坪內外
丙號 煉瓦造二階家三戶建 同 一戶ニ付 貳拾五坪內外
丁號 煉瓦造平家三戶建 同 一戶ニ付 貳拾坪內外
戊號 同上 同 拾八坪內外
二、圖案ハ各號毎ニ東西南北ニ面シタル四種ノ圖案ヲ設ケ甲號ニ限リ西洋應接室一室ヲ設ケ又各戶ニ浴室ノ設備ヲ爲スコト
三、各戶ノ構造ハ衛生及寒暑ニ對スル設備ヲ必要トシ住心地快ク且家具配置ニ付テハ經濟的ニ各室ヲ利用スヘキ詳細ナル圖面（簡明ナル說明ヲ記入スルコト）ヲ作製シ圖案ニ添附スヘシ
四、圖案ハ薄美濃紙ニ墨入レトシ構造上ノ建圖ヲ省キ平面圖縮尺百分ノ一トシ第三項ノ設備圖面ハ縮尺二十分ノ一トス
五、應募圖案ハ總テ暗號ヲ用ヒ住所姓名ハ別封ノ上其暗號ヲ表記スヘシ
六、審査ノ結果當選圖案ニハ左ノ賞金ヲ贈呈ス
甲、乙、丙號各一等 金貳百圓
丁、戊號各一等 金參百圓
各二等 金壹百圓宛
各三等 金五拾圓宛
七、應募圖案ハ大正八年九月十日限到着スル樣當行經理課宛差出スヘシ
八、十月上旬ニ適當ナル方法ヲ以テ發表シ賞金ハ發表後二週間以內ニ當選者ニ贈呈ス
九、應募圖案ハ一切返附セス且其ノ使用權ハ當行ニ屬スルモノトス
一〇、應募者ハ審査ノ結果ニ對シ異議ヲ唱ヘ又ハ說明ヲ求ムルコトヲ得ス
一一、應募者ハ五種類ノ圖案成ラサレハ應募資格ナキモノトス
一二、圖案ニシテ指定ノ期限ニ後レテ到着セルモノ、他人ノ意匠ヲ模倣セルモノ及本規定ニ違反セルモノハ審査セサルコトアルヘシ
一三、右ニ關シ不明ノ點ハ當行經理課係ニ付キ照合セラルヘシ

大正八年八月 京城 朝鮮銀行

特選大寫眞 日活會社新規大撮影 山本、吾妻一派出演

新派悲劇 響 五卷

小島孤舟氏の傑作にして貪慾飽くなき無慈悲なる親の爲めに子爵家に嫁したる薄命なる娘雪枝はあらゆる浮世の辛酸を嘗め零落したる夫月可憐なる愛孃に能く貞操を守り遂に悲慘なる生涯は血となり淚となりて諸氏の心を擾き掻らで止まざるべし

大冒險大活劇 死の競爭 五卷

大冒險活劇に特色を有する伊國アルマンドの大傑作にして曾て大好評を博せる『死の曲馬』『死の騎手』『火焰の舞』の姉妹篇にしてあらゆる犧牲を拂ひて完成せる決死的大冒險の悲壯なる坐ろに心膽を寒からしむべし

八日より 大正館

貸遊船 龍山電車終點 共樂社 電話五三八番

六神丸

本劑は開方以來二百餘年の歷史を有する古方にして高貴なる藥劑の精華を拿て集成せられたる東亞藥料として其効神奇なる驚異すべきものあり
水野理學博士は本劑に含有せる重要成分の研究論文により學會に報告せられたり
石津藥學博士は本劑に含有せる重要成分は在來唯一の強心劑なるヂキタリスの主成分ヂキトキシンに比し實に百倍の強力なることを記せられたり
注意 本劑は許多の動物磁氣を含有するを以て特異とす故に驗失に吸着するの性あり
主治効能 心臟病、腎臟病、小兒急癇、神經衰弱、神經痛、胃痛、脚氣、熱性諸病、歇私的里、船暈、吐瀉病、疝痛、子宮病、食道炎、咽喉炎、扁桃腺炎、病後の衰弱、諸々の腫物、齒痛、口內炎
本劑の少量則ち毎日貳粒乃至三粒宛常用すれば心臟の機能を強壯し新陳代謝を盛ならしめ全身の疲勞を防ぎ以て全身諸器の健康を保全するを得べし
定價 五十粒 貳圓 百粒 參圓五拾錢
京城府長谷川町五十五番地 中華醫院藥局 電話六七五番

萬年ペン修理と販賣 京城本町

三千五百七十九萬圓[illegible]日に比し七十萬圓を增加せり

[illegible]ら一等五十錢二等四十九錢[illegible]三等四十九錢なるも近く又値[illegible]

一等（十三名）[illegible]太郎、吉川正人、[illegible]技博、津田い[illegible]、[illegible]、夾基斗、朴炳哲、沈夫風、林茂樹、[illegible]奥子、村上一郎、扇原さみ、大河平隆、安藤直陵、森秀男、石井謙逸、石井初[illegible]、上田高四郎、石田要助、高元勛、朴[illegible]

七日 後場大引　七日 前場寄付 東新 二五七、四〇 二四九、四〇 一六九、九〇

小學生體育問題

公設運動場の急設

社會政策上からも必要

吉野町　眞鍋生

余が本題の下に提唱せんとするものは公設運動場の急設である兒童の健全なる發育上緊密なる要件は新鮮なる空氣と運動とに歸すべく而して運動場は最も克く其條件を滿す直接の機關である、然るに地代の極めて高價なる都市に於て運動場を設くるが如きは容易の業に非ず

宜しく公費を投じ以て設置するの必要がある、遊戲乃至運動が兒童の健全なる發育に必要なるは人の生きんが爲に食物の必要なると同じ程度のものである、彼等は是れが爲に其所を得ざれば手段を選ばず何處へでも蹉足を延ばさんとするのである、見よ兒童が空地又は路次に蛆虫の如く集り而も亂雜極まる惡戲に日を徹し

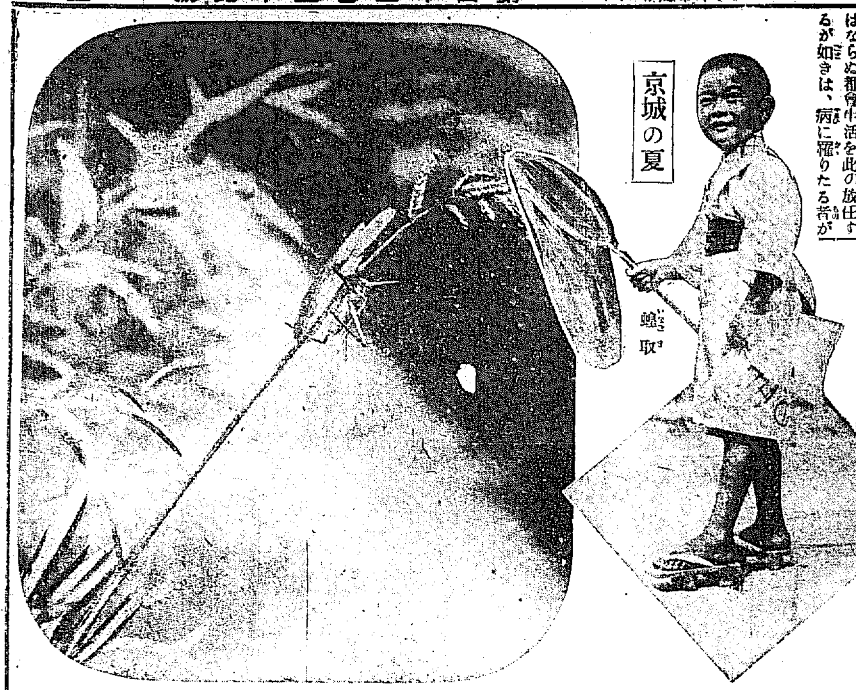
近隣の怨を釀し喧噪を聞くが如き、或は街路を運動場と心得通行を妨害し怪我其の他事故を生ずるが如き以外、有形無形の誘惑がある彼の加賀千代女が詠んだ蜻蛉つり今日はどこまで行つたやらの一句の如き氣長にして而も高雅なる思想の如きは實際も到底出來ぬ。一寸暇時に小供の歸りが遲ければ

直ぐ怪我はすまいか迷ひはすまいか、と心配をせねばならぬ都會生活を此の放任するが如きは、病に罹りたる者が藥代を惜しみ服藥を怠ると同樣自棄の沙汰と謂はねばならぬ。宜しく此等可憐なる兒童の爲に完備せる公設運動場の急設を期待するものである、京城に就て謂はしむれば

府當局主管の下に現在學校の運動場を改善し以て解放するか、或は更に適宜の場所を選定し兒童の遊戲運動總て發育上に好適せる充分の設備と衞生上の注意を拂ふと共に、當局よりは理解ある管理者を附し兒童の指導啓發の任に當らしめるを以て先づ足れりとすべし。斯くする時は兒童の惡戲事故を避くるのみならず、多數集合の結果として

自然競爭心乃至協同心の涵養に資するの外又樂く遊戲、自ら誘惑に遠ざかるを以て現代教育の大問題である不良少年の跋扈を防ぐの方法ともなり一の運動場は延ひては實に社會政策上重要なる結果を齎すのである。されば何事に於ても先鞭をつける米國に於ては既に數百有餘の都市が市の直接管理の下に運動場を開設し、

ミネソタ州の如きは運動場敷地を求める爲に公債の發行を許可し、又マッサチューセッツ州に於ては十年前即ち一九〇八、九年の交に於いて既に强制運動場條令（都市にのみ適用）なるものが公布された而して市俄古、紐育等に於ては何れも一千數百萬弗といふ巨費を運動場經費として投ぜられてゐるといふ事である。幸ひ貴紙を通じて幾多の名論卓說が發展せられ、漸次兒童福育の上に改善の步を進むることを得れば結構である



過激派軍 掃蕩戰

十四師團發 某所著情報

東部旅團方面 クンズール附近に於て得たる俘虜の言に依れば約三千の過激派はキムカン、ピラ兩驛間中央北側の森林內に根據を有し時々地方に出沒して掠奪を行ふ

西部旅團方面 十四日武裝過激派百名ペチャンカに來り郵便局を襲ひ金品を掠奪せり、又十二日亞市西北方スクラムスコエに約二十名の過激派現はれセレブリヤンカを經てサザンカ方面に赴けり。ウエリナヤ附近の敵を掃蕩する爲め十四日朝ポチカレトを出發せし辻岡中隊は敵に遭遇することなく十五日夜歸還せり

黑龍江方面 十四日夜怪しき小舟インノケンチエフカ附近に於て普通客船の點檢を行はんとせしが客船に露兵の在るを知り遁走せり武市上流黑龍江警備の爲め砲艦ブリヤードは十六日武市發エカテリンスカヤに溯江せり

蘇城方面 南部掃蕩隊は十七日夕宿營地出發過激派守備中なりと云ふモルチヤノフカ。マナキール（セルゲフカ北方及東方所在兵力一千なりと云ふ）敵を掃蕩しメルニーキには依然一小隊を殘置すミルノフ軍はフロロフカよりアヌチノ行動は困難なりとて斷り來れり依て一部をセルゲエフカ及びメリニーキに出だし要すれば附近を掃蕩すべきを要求し約一週間の後其行動を開始すべきを約せり

烏蘇里方面 （イ）十七日齋藤支隊に自動車七輛、兵一中隊、騎兵一小隊を配屬し該支隊の行動豫定は十八日夜半行動を起し一中隊を以てルリヤンカを守備せしめ十九日オルロフカを奇襲し廿日アヌチノに廿一日一部をアヌチノに殘しリマクワ、グロデコオを攻擊、二十二日以後の行動は情況に依る（ロ）木原支隊は米軍一中隊を伴ひ十七日夜二梯隊となりタウビヘ河谷に向ふ意氣軒昂たり（ハ）山下支隊は藤田少佐の指揮する二中隊を十八日ミハイロフカ西南十六吉のタウベ河谷に十九日ヤコブレフカに進め支隊の主力は十九日ノウオクラスノヤロを二十日ノリコポズを攻擊する筈

特使一行の歸朝期

園侯は廿六日

牧野男は九月中旬

巴里の講和會議に列して後英京倫敦に渡り、日英交驩の二役を果して佛國に引揚げた西園寺侯は去月二十日郵船熱田丸に搭乘して馬耳塞を出帆したが愈來る八月二十六日神戶埠頭にめでたく歸著の筈である、一行は侯と八郎氏夫妻に三浦謹之助博士及例の雪月花の旅路と京童に謳はれたお花さん、大阪灘萬の主人等總て十人である。まだ一行に遲れた牧野男は八月二日同じく馬耳塞解纜の郵船鹿島丸に便乘したが船は蘇士、古倫母、新嘉坡、上海等に寄港して九月十一日神戶着の豫定である、同船には立作太郎博士外七名にて外務省の松岡書記官等は猶滯佛の都合である、實業界を代表した近藤廉平男は九月二日倫敦發米國を經由し同地實業界視察の上十月下旬歸朝の豫定である

伊國文豪ダヌンチオ氏の日本飛行は確實

多分今秋十月決行か

伊太利文豪ダヌンチオ氏の日本への飛行は確實にて多分來る十月を以て決行さるべし因みに同氏は最近佛國陸軍航空隊附技師顧問に任命さる（巴里電報）

一等客車全廢さる

內地の各線

鐵道院は來る二十日より各線の時刻に大改正を行ひ急行車以外一等車を全廢する旨發表せり（東京特電）

寬城子事件戰死者の遺骨

七日內地へ

寬城子事件の犧牲となり戰死したる隅田大尉以下十七氏の遺骨は七日午前七時發列車にて數名の兵士に護衞せられ多數の見送りを受けて內地に向け發送せられたり（長春特電）

呆氣ない榮華の夢

主家の金品を橫領して大盡風を吹す

本月五日龍山彌生町遊廓菊水方にて生若い一人の男が盛んに豪遊を爲し果ては同家の抱へ娼妓菊代を身受けせんとする由を聞き込みたる龍山憲兵分隊にては

擧動不審と睨んで同隊に引致し取調たるに包切れず一切を自白したるが此若者は原籍兵庫縣明石西新町日下漢江通り八番地貿易商安田幸吉方雇人安井義章（二）こいふ者にて本年一月初め安田方の店員として住込みたる當座は至極實直に働き居たるも漸く尻が温まるに連れて心が緩み

彌生町へ足を踏み入れたのが病附きとなり足繁く通ふ內にお定まりの金子に詰まりつい惡心を起して去月十日の夜主家の簞笥の抽斗より羽二重絞一反を盜み出し三角町前田質店へ十圓に入質し彌生町末廣樓の方の娼妓を買しが惡事の手初めにて又も本月二日には同じく主家の

簞笥より御召男給一疋外價八十圓の品を盜み出し黃金町二丁目鈴木質店へ金二十圓にて入質し其金にて彌生町菊水方に押し上り抱へ娼妓菊代を敵手に豪遊し越へて本月五日には又々主家より初二重羽長襦袢一枚半襦袢一枚金紗兵古帶銘仙の白單衣縮緬浴衣一枚等を盜み尚ほ用

取立を命ぜられたる永登浦黑鉛株式會社振出第百三十銀行宛額面金五百七十四圓六十五錢の小切手を橫領して銀行より其金子を引出し其足にて前記菊水に至り大盡顏の豪遊を極め居たるにて義章は其金子にて娼妓菊代の前借金三百圓を支拂ひホネムーン氣に內地へ高飛びする目算なりし處當の菊代には

他に情人があり義章に身受らるゝを喜ばず兎や角うと其の談合に手間取るうち飲み過した酒の醉ひが廻り草にも木にも心置かる、身を忘れてつい轉寢の一夜入り短かき夏の夜の更闌けて曉近き三時過ぎ男女が寢入りたる眞最中に御用こばかり踏込まれて慌てる次第こは

自業自得こは言ひながら餘んまり呆氣ない榮華の夢なりし因に同人が取押へられたる時には前記質物の受出殘金及び藝妓の使殘り現金にて四百三十二圓五十三錢を所持し居たる由にて目下龍山分隊にて取調中

果樹野菜類全滅か

東村の慘狀

大邱附近東村は人の知る如く殆んど內地人戶數約七十戶を有し果樹園經營の傍野菜を作り大邱府民に供給しつゝあるが其主なるものは西瓜にして之れより得る收益實に多大なるに不幸今回の出水に遭ひ果樹の過半は流失し西瓜及び其他野菜類は殆んど全滅し慘狀目も當てられず東村の現狀を視察せし某氏は語れり

永川郡 琴湖駐在所管內に於ける水害は鐵道線路の被害八箇所延長軌道五十七本流失鐵道用電話柱中央軌道十本流失鐵道用電話線同地點に於て切斷し居り此の損害約七千圓即時復舊工事に着手し居るも本月二十日頃に至らざれば復舊せざる見込み浸水家屋は內地人八戶鮮人七戶同林下の家屋の倒潰住宅二棟納屋二棟浸水八十町步畓四十五町步に及ぶも幸ひ被害なし

迎日郡 浦項憲兵分隊にて調査せしところに依れば山內面延日面大松面の部內にて全損家屋約五十戶救助を要すべき人員四百名の見込にて取敢ず五圓より郡廳と協力炊出をなし救助中管內の麥は全部杜絶せり（大邱）

鮮人法學士

辯護士を開業

本年京大英法科を卒業せる學士金雨英氏（三）は朝鮮留學生中に何かの事ある每に京都の中心人物こせられ居りしが今回京都地方裁判所所屬辯護士として內地に於ける鮮人最初の法律生活を營むことなり已に登錄及び京都辯護士會へ入會の手續を濟まし去る二日より事務所を吉田牛の宮町に設置したりと因に金氏は慶尙南道東萊郡東萊面校洞三百七十七番地在籍にて兩班の出なり

馬山遊廓問題

移轉延期出願か

馬山遊廓移轉問題は當業者より延期を出願せんとしつゝありと傳へらる（馬山特電）

秘密事件暴露す

憲兵警察呼應して數名を捕ふ

慶北[illegible]州警察署にては安東及び英陽並びに附近の各警察署と相呼應し活動を開始して既に前記警察憲兵の手に依り數名の犯人を逮捕し目下秘密裡に取調を行ひつゝあり、無論事件の內容は秘密に附せられ居れば知るに由なきも傳へらる處に依れば前記各地の不良の○○輩が密に氣脈を通じ折柄○○に關れつゝありし○○○○を提出せんとし既に其○○○○を作りたるを早くも探知したる署にて探知したる事件なるもの●如しこ

貧苦こ鬪ふ

病夫を抱いて憐れな一家

肉身も及ばぬ隣人の同情

市內南米倉町二百五番地奧村德太郎は海產物を行商して一家五人の生活を支へ居たるが不幸にして昨年來肺を病み臥床の身さなりたる爲め妻は夫の看護の傍ら綿卷機を行商して生計の一端に充て居たるも女の細腕にては日々の米代に相當するほどの收入もなく家財道具は勿論子供の衣類に至る迄金に代へ悲慘なる生活を續けつゝありしが同番地居住帝國生命保險會社員岡田良次氏夫妻は奧村一家の不幸に痛く同情し自宅には八人の家族あるに拘らず病人、滋養物、醫藥及びその家族の副食物、學校の月謝に至る迄萬端の勞費を惜まず病人の看護及び家族の慰藉に努めつゝある由なるが昨冬の如きは病人の爲めに夜具一組を貰與へたることあり、親子も及ばぬ岡田夫妻の情に依りて奧村一家は辛うじて生計を支へつつありと云ふ

長春の虎疫

滿鐵社員死亡

五日夜滿鐵社員として來長せる岡本福二（三）は長春著こ同時に發病六日夜滿鐵醫院に入院七日眞正虎列拉こ判明間もなく死亡せしが來長の途中奉天鐵道旅館にて病毒を受けしものならんか又未だ十分に判明せざるも城內支那人間には罹病者多數を出し怖るゝもの●如く當局にては非常に警戒し居れり（長春特電）

各地最高溫度

（七日午後二時測定）

馬山	八十五度	
群山	九十四度	晴天微風
木浦	八十三度五分	晴天
大邱	九十一度	東風强し
平壤	九十一度一分	快晴
淸津	八十二度三分	
淸州	九十一度	東南の微風
大田	八十六度	南風强し
鳥致院	九十度	東北の風晴
鎭南浦	九十二度	晴天

驅逐艇入港

旅順に向けて出動せる吳の第十三驅逐隊水無月（旅艦影浦司令官座乘）長月、卯月四艦は途中占勝發にて危篤に陷れる水兵の應急手當を施す爲め針路を變じ五日午後三時五十分海波を蹴つて木浦港に入港し急患水兵を上陸せしめ野菜肉類等を補充の上六日早朝拔錨し旅順に向へり（木浦）

賊と格鬪

平壤鏡齋里一四金鼎瀕（三）は一昨年四月同府內里門里金燦五方へ忍び入り現金七十錢入の財布を窃取逃走したるを手始めに爾後四十一回に渉り數百圓を窃取して府內を荒し廻りたる事平壤署の吉永刑事及び芳根の兩刑事が探知し犯人所在を探査中の處三十日午前十一時頃府內乾田里の路上に於て犯人を發見したるより三刑事は曲者逃がさじと協力して逮捕に向ひ手強く抵抗するを取押へ目下取調中（平壤）

避暑地投票

第十六回發表

七百六十七票	釋王寺
六百八十一票	水安堡
六百三十五票	馬山
五百四十五票	元山
四百九十五票	儒城
二百七十七票	黃海正方山
三百六十六票	水原
二百八十票	海雲臺
百九十一票	仁川
百十二票	東萊
八十一票	冠嶽山
七十六票	俗離山
五十九票	寧邊
五十五票	內藏山
五十三票	金山
五十一票	溫陽

（五十票以下）裡里、扶餘、統營、釜山、[illegible]浦、公州、光州、木浦、平壤、逍遙山、九味浦、[illegible]金剛、密陽、松島、南原、淸津、[illegible]州、慶北周王山、南道、藥水湖、開城、摩天山、平康、古群山、[illegible]郡五山里公園、鷄龍山、井邑七寶山、同春湖、成北朱乙

遮斷を破つて

平壤

壽町八番地原田卯吉方雇人原田誠一（二）同高木幸三（三）同原田五一（三）の三名は去る七月二十九日同家雇人上西庄藏が赤痢病に罹りたる爲め平壤署にては三日より八月四日迄遮斷を命じ居たるにも拘らず一日午後六時頃窃に屋外に出で蟋岸なる大同郡橋里地方に赴きたるを平壤署小山巡査に發見され三名とも傳染病豫防令第廿四條第六號に依り科料金五圓宛に處せられたり

又もや咬傷

龍山元町四ノ一三三廣居乙松長男常吉（七）は四日午後五時頃元町二ノ八二齋藤治平方の飼犬に咬まれ犬は目下診斷中

電車機械檢査

京城

道警務部にては過日來實施中なりし電車救助網の檢査も終了せるに付更に數日中に機械の檢査を行ふ筈

總督府の修繕

現在總督府の建物は假建築なる上已に手入後六七年を經過せる事こて內容外觀こも振はざる者あり目下外壁の修繕及び壁塗中にて多少の面目を改むべしこ

運動界

高商軍來期

九日朝こ決定

全京城軍こ戰ふべき東京高商庭球團は愈々九日朝入城する旨總督府體育協會に電報ありたるが當日直に仕合をなすや否や未定なり

大正倶樂部捷つ

總督府學士團對大正倶樂部對本社野球戰は午後五時卅分より京中運動場にて擧行五回試合にて十對七を以て大正倶樂部勝てり

演藝

◇響

大正館にては八日より新派悲劇響を上場す同劇は最近日活會社最近の大傑作にして强慾無慘なる父は娘を華族に嫁せんとし青年を追ひ子爵家に嫁せしめたる幸の娘を惡魔の如くせしめたる後子爵家の支配人となり種々惡辣なる手段に依り子爵家の財產を橫領し而も飽きたらず最初青年に戀せる青年が再起し今や時めく大臣の秘書官に立身せる爲め青年と再婚せしめんとせしが青年はあらゆる浮世の辛酸に堪へ能く其貞操を守る一方虐待せる夫子爵は紳士となり其愛嬢は非道なる其日の糊口を凌ぎつゝありしが青年は强慾なる父に悔悟を迫り殘つて是を殺したる爲め遂に悲慘なる運命に陷り銃後の悲慘なる境遇には何人も同情の淚を絞らざる者なかるべし其他主なる寫眞は△實寫マルセル島獨木舟の競爭△滑稽アンドリーム學園△同ボップスの輕業△大冒險大活劇死の競爭全五卷

夏と美人

…お化粧の仕方一つ…

夏は暑さ敗けがして、兎角お肌の色艷が冴れません上に、汗や塵や日焦けやで、醜くなりますから、天性の美人の方でも、美くしさを損じます。然しこれを助けるのが化粧法で、優良なお化粧料をお使ひにさへなれば、何の憂ひもなく、夏を樂しう美くしう暮せます。レート白粉の特長は、地肌を整へて自然の白さに艶があり、上品でお化粧崩れのせぬ点にあります。ですからレート白粉をお附けになれば、地肌を美くしくして日焦けを防ぎ、汗や塵に汚れず、一日美くしいお化粧をして居る事が出來ます。

レート白粉

本舖　東京 大阪　平尾贊平商店

みだれ咲き

第百十一回　島　碧波 作　森田 久 畫

山中子爵の一行が門司の一旅館川卿の奧二階に旅裝を解いた時

『御厄介になりますわ』

同伴も連れずに同家の閾を跨いだ一美人は、誰れの目にも上流の家庭に育つた令嬢と首肯かれたが、此の美人こそ彼のトランクを眺めて山中子爵夫妻の歸りを知つた妖婦お蓮であつた。

『入らつしやいまし』

夫れと知つた帳場の番頭は見世先きに飛び出して彼の女を迎へた

『後から邸の者が一人二人來ますが、上等の間が空いて居ませんですか』

嬌態の裡にどこと無く親しみ易い態度、お蓮は恥かしさうに頭を垂れるのであつた。

『はい恰度お格好のお居間が空いて居ります、どうぞお通り下さいますやうに』

手代を始め女中達はお蓮の美に打たれて暫しは其の面を瞶めて居た。

『さうですか、夫れでは御厄介になります』

薫りの高い香料が振り掛けてある絹ハンケチで芳唇のあたりを蔽ふたお蓮は女中の案内を受けて奥二階へ通つた。

『お疲れ樣でございませう』

女中が茶や菓子を運んで來ると輕く首肯いた彼の女は。

『いろ〳〵お世話になるわね』

肩を辷る金紗のコートに空ら嘯きがして、纖細な右の指頭にダイヤの稻妻が流れた。

『是れは帳場へ？是れはお前さん達で分けて下さい』

逸早く茶代を與へたお蓮は、旅馴れのして居る萬事の態度に女中達を驚かした。

『恐れ入ります』

女中が彼の女の前を辭して行くと、旋て番頭が茶代の禮に來て

『御厄介になりますわね、多分邸の者は午後の汽車で著くでせうが、都合に依ると三四日滯在しますから宜しくお願ひ申しますわ』

番頭は多額の茶代を貰つた禮を述べて戻つて行つた、がお蓮は頻りと奥二階の山中一行に注意を拂つて彼等の出發前に子爵夫人に近付かうとして居る。

『お風呂をお召し下さいまし』

女中の案内を受けて彼の女が風呂へ入つた留守中、嚴島の壽惣本店に泊つて居る情夫井口の許へ發した電報の返電が來た。

『お嬢樣電報でございます』

『あら左樣ですか』

彼の女は女中から受取つた電報を披くと、ヂッと其の文句を默讀して何か深い考へに落ちた。

『あの人が來られ無いなら私一人で一芝居打たう』

湯の風呂から上つたお蓮は、手早く化粧を濟ませて山中子爵夫人の動靜に細心の注意を拂つて居た。

『もし奥樣……』

子爵夫人が便所に起つと其の戻りを待ち受けて居たお蓮は、我が座敷の前を艶子が通ると馴れ〳〵しく聲を掛けた。

『私ですか』

日頃から餘り大振らな子爵夫人は見知らぬ美人に馴れ〳〵しく聲を掛けられて怪訝の顏をした。

『さうでございます』

片頰に冷やかな笑を浮かべたお蓮は入口に起つて來た。

『何か御用でも御座いますか』

努めて冷静に裝つて居つたが、根が氣の小さい艶子夫人は大なる不安の念に襲はれて居るのであつた

『奥樣……若樣のことで折入つて御相談が致したうございますが、お座敷へ參りまして御前の前で申し上げても宜しうございませうか』

不意に斯うした質問を受けた艶子は多少面喰つたやうであつた、見も知らぬ美人に、然も九州の女に、口こそ云ふさへ門司の旅館で寢耳に水の質問を受けた艶子は、返辭もせずに妖婦の面を瞶めて居た。

京城名物の（京城本町二丁目）カフェータイガーの アイスクリーム

不味い米と美味い 米との選定方

米の値の一番高いのが一等米、それから二、三、四等米と段々に値が廉いことになつてゐますデ、値さへ高ければいゝ米かと云ひますと、決してさうではありません、同じ

三等米 でも美味いのと不味いのとありますから品を調べて買へば美味い米が割に廉く買へるのです、米粒を一見して良いのと悪いのとを鑑定するのは一寸困難の樣ですが、實は何でも無いことで、即ち米粒に腹白、白玉などのあるのは

不味く これ等が無いの粒が揃つてるのは美味い、これは内地米でも外米でも同じで腹白と云ひますのは米粒の側にある白色不透明な部分、白玉とは米粒の中心にある白色不透明な部分で、これの無いのは全部半透明ですそれから形は小粒より大粒の豐滿なのがよく中粒のはよくない樣です小粒は主に早稻、大粒は中稻、中粒は晩稻です

牛乳　御朝鮮病院用 御成病院用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一六〇九番

むくげの剃り方

産毛は化粧のはき化粧ですこむく毛があつても別段差支がありませんが

日本人の肌 には西洋の化粧法は只けば〳〵しく白粉が浮き上がる許りでちつとも擧りません、殊に結婚當日の花嫁の裝い場合は是非濃い化粧にしなければなりません藝者衆等の白粉が長時間少しも化粧崩れがせず持ちますのはつまり此むく毛を綺麗に剃つて肌合を平らにすべ〳〵となめらかにした上に

淡白と化粧 した爲めに斯う美しさを保つので御座います、そこへ行きますと素人方は頬や額等を持にごし〳〵と力を入れて洗ひ過ぎし人になると眞赤になる迄擦つてお洗ひになりますが肝心の耳の後とか小鼻のわきとか又は衿筋のむく毛の始末には一向お構ひなしにして居ます、殊に

女學生上り のお嬢樣に至りますと五年も六年も剃刀をおあてにならぬ方が澤山御座いますが斯るお方に限つて鼻の穴や耳の穴の毛が長くのびて居りますのには誠に閉口いたします偶にお剃りになつたとした處で矢張り素人方ですこいくらお器用でも

お鼻や耳の 毛迄は手が行き屆くものではありませんから時々専門家にかゝる必要はあります、美しくなくてならぬ花嫁樣がお鼻が眞黑に見ねる場合がよくあることですから何れの方に於てもお自分でよく御注意が肝要であります

家内心得　百ケ條（二）

（四十一）紙幣は大切に扱ふこと

（四十二）廢物の利用を考へること

（四十三）器具は價高くとも丈夫なものを求めること

（四十四）筆またはペンは使つたら後は拭ふて置くこと

（四十五）物干竿は日のあたらぬ所へしまつて置くこと

（四十六）薪は日に當て又は雨にさらさぬこと

（四十七）夜ふかしをやめて朝起をすること

（四十八）ひまある時には草履や草鞋をつくつて置くこと

（四十九）仕事は一時は一事づゝ片付けること

（五十）肥壺には日の當らぬ樣に蓋をして置くこと

日報柳壇　劍花坊選

死んだ子

女親いつも惜しがる娘の子　十呂帽

死んだ子を女優程と捨て樣　同

桃が出て死んだ子を思ひ出し　同

死んだ子は一人、無い子澤山　芝蘭坊

死んだ子を悲む今日の雨模樣　同

死んだ子は才子だつたと一周忌　同

死んだ子の墓でも墓はいゝ物　輝華

死んだ子を親孝行の子だと云ひ　同

死んだ子の玩物案山子まで藏め　同

お惣菜

◇蓮根の煮方　蓮根を自然のまゝの色を保つ煮方を申しますと使用藥は醋酸、酒石酸、拘櫞酸、食酢、明礬の五種で分量は醋酸一二滴、酒石酸三分、拘櫞酸三四滴、食酢五滴、明礬四分です、さて洗方は初め水一合に付滴或一二滴を入れて大れより約十分間程放るときは蓮根に含まれた灰汁、硼酸は酸に作用されて白色を保ちます第二の方法としては何れも第一方法と同じです

△商人の『約束』を無視して恬然たるは終に許すべき事柄ですか、某洗濯屋に私は一着の夏服を洗ふべく依頼した、然して旅行用のものゆゑ特に日限を限つてその日行つて見たる處未だ出來せざる旨その家の妻君が答へたそこで私の旅行の豫定は大いに狂つた、私は一日間出發を延期して翌日行つて見るにその店は答へに未だ、然も何等慚愧の色なく澄々然として、私は二度の違約に逢つて赫怒した、然も如何ともすべからざるに依り更に半日の延期をして辛じて夕方その服を受取つた、意外に高價なる洗濯賃を支拂はされて……その洋服の襟は濕り、糊は薄く實に著るに堪へない品を渡されて……諸君！かゝる營業者は斷然排斥すべきではなからうか（一被害者）△無智な生君に答ふ印紙税を納付すべき領收書は一、營業に關すること一、記載金高五圓以上なること、此二條件を具備するものに限り印紙税法第四條に定める印紙税を納付すべきものと解釋致し居り候印紙税法第四條同法第五條參照（雜貨屋小僧）△日向きむすめ女史の化粧水『オロラ液』は京城で賣つてる家を御存じの方は恐入りますが紙上で御教へ下さいませんでせうか（龍山女）△京城から大阪商業會議所へ調べて貰ひたい事がある料金が入るでしようか或は京城商業會議所の手を經るのか知つた人が居られましたら本欄まで調べて貰ふ事は或る商賣があるかないかを（一手生）△色黑き光子樣へ色白くなる方法胃腸の弱い人ははかり運動を充分にし血液の循環を良くすること、皆し色黑きは色素の如何に起因するのでなくて血液の如何に存するからです一、精神を快活にし樂天的生活を營み悠々人生を樂むこと憂鬱の人色惡く快活なる人血色良き之を證す三、硼酸水一パーセントを以て顔を拭くこと、但し薄くしてよろし、毎日之を試むれば效顯著である、内服藥として砒素劑を服用すること、但亞砒酸は毒藥なる故藥店で賣りません醫者も與へません、危險で人命にかゝわるからです、東京日本橋區本町三共藥品合資會社に熱帶地旅行のマラリヤ豫防藥として亞砒酸の非常に小量を以て錠劑を製したのがありますが藥名を捜しましたが分らなかつたのですが本月中に本欄で知らせますから十日位待つて下さいませ（旭町エス、エス生）

人蔘主表　京城本町壹丁目 電話一四八〇番 一八七〇番　ツ 津村兄弟商會

京日案内

普通一回前金 一行二十字詰 番外 金壹圓二十錢

市内込後中途掲載中止は料金不返戻 六回以上の申込は特に割引の事 照合は返信附にあらざれば回答せず

古本熱心高價買入 是非御試し下さい 電話三一九五番 御報次第參上 本町二丁目 群書堂

花アラレ 煎餅 滿州公主嶺 職人雇入度し 花園町 緒田商店

牛乳配達人募集 十八九歳より廿五歳迄の内地人 希望者は直接本人來れ 東小門外 二十三番 平山牧場

器 大安賣出 八月五日より十日まで 京城本町二丁目 大久保[illegible]店

店員入用 保證人を要す 市内永樂町一丁目 篠田雜貨店

藥劑師招聘 朝鮮安州邑内 吉田商會藥店

店員入用 十四五歳より 京城本町二丁目 ますや

活字 京城[illegible] 電話[illegible]番 竹内活版製造所

店員入用 但保證人を要す 京城永樂町一ノ二 商品陳列館賣店

年金恩給 御融通 利息前引無し 京城永樂町 即時御立替 西小門頭寺内下角 江州屋本店

丁稚入用 保證人二名を要す 京城黄金町二丁目 喜多金光堂 時計卸商 電話一〇一五番

登録商標 御旅行には必ず弊店の鞄を 定價表進呈郵券二錢要す 東京市日本橋區 京城本町 鞄商 [illegible] 店 振替一八七一七

債券 關東都督府認可 公債債券月賦販賣 大連債券株式會社 大連市西通二丁目十一號地 電話長一五二四番 振替大連二三〇〇番

債券 勸業債券高價買入 案内無代進呈

最新刊

法華要義 清水龍山著 定價一圓九十錢 送料十八錢

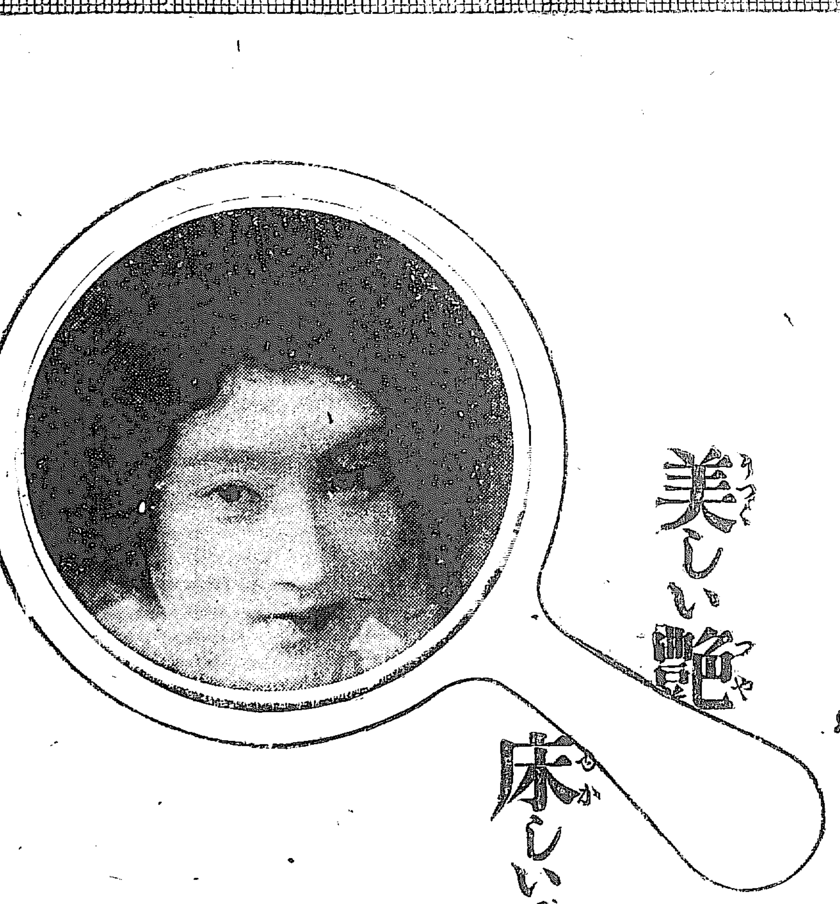
工と勞働 定價二圓 送料十六錢

歌時計 定價一圓三十錢 送料八錢

大阪屋號

購買入札 白米七十石外一點 右購買ス詳細ハ本日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

紳士の美髮用 として最も適して居る唯の一度で美しい艶々した黑髮となる 縮れ毛、癖毛を直し、枯毛を防ぎ、抜け毛を止め生へ際を好くする 芳香の永く保てる純植物性美毛料 ホーカー美髮液 小瓶廿五錢、大瓶四十錢 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店



貿易金融改善　日銀當局者談　發展に伴ない異常の巨額に達して歐米各國に於けるが如く[illegible]又各地の銀行業者に此種手形を賛成ありたる[illegible]市場に現はれ形の如き[illegible]日本銀行が擔保として預かり置く[illegible]一定の印形[illegible]は日本銀行の公定歩合中の最低[illegible]商業手形の歩合を適用せ[illegible]方法に依り内地市場の資金を使[illegible]